

して、圓周率 3.14159 に最近の答より順次に列記すべし。

第四 爰に二町四方の地面あり、甲乙二人同時に一隅より出發し、甲は對角線に沿ひ、乙は周邊に沿ひて走り、相會せんとす。乙は一分間八十尺を走り、甲は乙の一倍半の速度にて走るといふ。二者何れの處に於て相會するや。

第五 外徑一尺二寸、内徑一尺、深さ二尺の鑄鐵製圓桶あり。底の厚さは一寸なり。今鑄鐵一立方尺の重さを五十三貫なりとするときは、此鐵桶の重さ何貫目なるや。

同 (代数)

第一 次の式を簡單にせよ

$$a^2\left(\frac{1}{b}-\frac{1}{c}\right)+b^2\left(\frac{1}{c}-\frac{1}{a}\right)+c^2\left(\frac{1}{a}-\frac{1}{b}\right)$$

$$a\left(\frac{1}{b}-\frac{1}{c}\right)+b\left(\frac{1}{c}-\frac{1}{a}\right)+c\left(\frac{1}{a}-\frac{1}{b}\right)$$

第二 或人自轉車にて百二十ヤードの距離を走るに、前輪の回轉數後輪の回轉數より多きと六なり。今若し前輪の周圍を其四分の一増大し、後輪を五分の一増大せば、回轉數の差、四に減ずべしとす。前輪後輪の周圍各幾ヤードなるや。

第三 金剛石の價は重量の二乗と比例し、黄金の價は重量と比例す。今金剛

石 a 匁の價は黄金 b 匁の價の m 倍にして、合計 c 圓なりとせば、各々匁の價幾何。

第四 次の一組の方程式を解け。

$$\frac{xy}{4y-3x} = 20, \quad \frac{yz}{4y-5z} = 12, \quad \frac{zx}{2x-3z} = 15$$

第五 a が限りなく一に近迫するときは、次の式の値の極限何如。

$$\frac{a^3-a}{a^2-a+1}$$

(幾何學)

第一 直角二等邊三角形 ABC に於て AB を弦とす。BAC 角を二等分して AD を作り、BC と D に會せしむれば、AC、CDA の和は AB に等しきことを證せよ。

第二 面積に關する定理に據らずして、正方形の對角線は一邊の三分の四より長く、其二分の三より短きことを證すべし。

第三 ABCD なる平行四邊形の對角線 AC 上の一點 P より、PB、PD の二直線を引くときは、PCD、PCB 兩三角形の面積相等しきことを證せよ。

○物理科

- 第一 一秒時間三十メートルの速度を以て、物體を下より上に向て鉛直に抛てば、幾許の高さまで達すべきか。又幾秒を経て元の處に落ち來るべきか。
但し重力の加速度九、八メートル。
- 第二 華氏寒暖計の九十度の温度は、攝氏寒暖計の何度に當るか。
- 第三 銅の比熱一Ⅱなりといふは、何のことか。詳細に説明せよ。
- 第四 音の高さ、強さとは何か。其原因を問ふ。
- 第五 水中に棒を樹つれば、其實の長さよりは短く見ゆる理由を詳説せよ。

○化學科

- 第一 $KClO_3 = KCl + O_3$ 。此化學方程式の意義を詳に解釋せよ。
- 第二 空氣は窒素及び酸素の化合物にあらずして、其二瓦斯の混合物たることを證明すべき試験の方法を詳記せよ。
- 第三 鹽素の製法及其著名なる化學的性質を記載せよ。
- 第四 食鹽とアムモニアとを含有する水より純粹なる水を製出すべき方法を説明すべし。
- 第五 酸、鹽基及び鹽なる語の意義を解釋せよ。

○用器畫

- 第一 長徑三寸、短徑二寸二分の楕圓を畫くべし。
但し兩脚規を用ゐて近眞なる楕圓を畫く方法に依るべし。
- 第二 直線の垂直投象及び水平投象共に界線に直角なるときは、垂直投象面及び水平投象面に對して此線の位置如何なるやを解説せよ。
- 第三 水平投象面に直立する正五角錐體（高サ二寸五分、底面の一邊の長さ一寸二分）を投象し、而して水平投象面に三十度傾斜し、垂直投象面に直角なる平面を以て錐體に於ける軸線の中央點を通じて之を截斷するものとして、其截斷面の實形を畫くべし。
但し底面は水平投象面に密着して、底邊の一は界線に傾斜すること二十度なりとす。

(注意) 答圖は凡て墨入れすべし。

○自在畫

蝙蝠傘に傘立 硯に筆

高等商業學校

(新問題は未だ手に入る、能はざるに依り、暫く参考の爲め舊問題を掲げたり)

○漢文科

夫民方其窮困時所望不過十金之資計其衣食之費妻子之奉出入於十金之中寬然而有餘及其一旦稍稍蓄聚衣食既足則心意之欲日以漸廣所入益衆而所欲益以不給不知罪其用之不節而以爲求之未至也是以富而愈貪求愈多而財愈不供此其爲惑未可以知其所終也盍亦反其始而思之夫嚮者豈能寒而不衣饑而不食乎

○作文科

- 第一 某工場を觀るの記
- 第二 殖民地探險者を招待して演説を請ふ文

○本邦及支那歴史

- 第一 藤原氏隆盛時代の概略を述べべし
- 第二 棉種を我邦へ舶載したるは何れの時なりや
- 第三 足利氏より織田豊臣二氏の治世に至り、美術工藝の著しく進歩せしは何故なりや。
- 第四 唐藩鎮の起原。
- 第五 清康熙帝の文學を獎勵せし概略を述べべし。

○外國歴史

- 第一 羅馬共和時代末路の概況を問ふ。
 - 第二 封建制度を顛覆せし諸原因を列擧せよ。
 - 第三 エリサベス時代に於る英國商工業の一斑を記せ。
 - 第四 米國南北戦争の原因如何。
 - 第五 希臘國は如何にして土耳其政府の羈絆を脱せしか。
- 本邦地理
- 第一 本邦大河は山脈と如何なる關係を有する者多きや。
 - 第二 本州中人口最多及最少の地方を記すべし。
 - 第三 本邦西岸に於ける主なる港、及艦船の航海に不便なる季節を記し、其理由を述べべし。
 - 第四 金華山、輪島、多治見、生野及口の津等は何所にあるや。

○外國地理及地文

- 第一 支那の白河は冬期其河口までも結氷し、船舶の往來を妨阻せらる。然れども之より高緯度にある御物及能代川の如きは其河口まで結氷するとなし。其理由如何

- 第二 Philippine Islands, Panama, New Caledonia, Guiana, 等は何所にあるか。

何國に屬するや。

第三 四季を生ずる源因。 春分、秋分、冬至、夏至、及晝夜長短の變遷を説明すべし。

第四 地球上熱帶と稱する區域、及其地方の主なる産物を記すべし。

○博物學

第一 動物及植物は滋養質注入及消食作用に如何なる差異を有するや。

第二 蜘蛛及蠶は如何なる種類の動物にして、其細線紡出部に如何なる差異あるや。

第三 朝顔は如何なる種類の種子より長發し、生長の上如何なる形の葉及花を生ずるや。

第四 硬度表には如何なる礦物を用ふるや。 順次之を記すべし。

○物理學

第一 清國上海及び函館に於て同一荷物の重さ(Weight)を測定せば、如何なる差異を得るや。

第二 貿易銀の目方(Mass)は七匁二分四厘五毛なり。 之を細絲に結著し、攝氏四度の水中に沈めて其重さを秤量せしに六匁五分二厘七毛を得たり。 然らば質

易銀の密度(Density)は幾何なるや。

第三 固體の熔解(Fusion)に關する法則を擧げよ。

第四 軟鐵及び鋼鐵に及ぼす電流作用の差異幾何。

第五 物體の白色なるは如何なる理由なるや。

第六 漁船に於て漁笛を鳴らしたるに、三秒時の後に其反響(Echo)を聞けり。

然らば漁船は何丁の沖合に在るや。 但し音の速度は三萬三千七百センチメートルとす。

○化學科

第一 水の記號をH₂Oと記す。 此記號は如何なる意味を示し、又如何なる實驗上の證ありて、此記號を水に與へたるや。

第二 鹽素の製法を問ふ。

第三 器械の裝置、使用藥品の名并製法中に起る變化を記すべし。

第四 次の場合に如何なる變化を起すや。

(一)亞鉛に硫酸を加へたるとき。

(二)鹽酸ボタシウムを熱するとき。

(三)炭酸カルシウムに鹽化水素酸を加へるとき。

(四)硝酸に加へるとき。

入學試験問題

(註) 題化ハシヨク水體化カシヨク(イタリヤ)カ如ク題カシヨクカ。

○英文和譯

(Dictionary not allowed. Time 2 hours. Translate the following into Japanese.)

1. The secret of happiness is to look things in the face, to resolve to do your best and endure the worst, to realize that "all is not lost when much is lost."
2. There are certain wounds which, being inflicted on the human body, cause no pain but are nevertheless mortal.
3. He is not a curious man, and made it a rule to inquire about people whose circumstances might require relief.
4. I can not repeat too often that no man struggle perpetually and vigorously against his own character; and one of the first principles of success in life is regulate our physical constitution and natural inclinations to good account, than to endeavor to counteract the one or oppose the other.

○和文英譯

- 第一 日本は亞細亞の東部に位し、四面繞らすに海を以てす。
- 第二 北米メキシコ邊は早魃のため飲水にも缺乏を生じ、人民難澁を極め居る由

なり。

- 第三 能筆は至つて美なり、手紙の拙き程耻きはなし。
- 第四 去月四日は米國獨立祭に當るを以て、本邦在留の米國商人は一般に商賣を休み、祝意を表せり。
- 第五 昨今俄の炎熱、日中は殆ど燻くが如き有様なれば、水の需要も隨て増加し、一日平均二十萬斤の消費高に達する勢なり。

○筆算科(第一回)

- 第一 左の三數の最大公約數を求めよ。
6302, 540328, 657737.
- 第二 $\frac{4\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{2} - 1}{4\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{2} - 1} \times (5\frac{1}{2} + 7\frac{2}{3})$ の結果如何。
- 第三 次式を最簡にせよ。
$$\frac{\frac{1}{28} - \frac{1}{16} + \frac{4}{21} + \frac{1}{10} - \frac{8}{63}}{(\frac{1}{2} + \frac{1}{12}) \times (1 - \frac{2}{3})}$$
- 第四 次の結果小數にて求めよ。
$$9875697 \times 2137.875 \cdot 06 \times 1850 \times 175 \cdot$$

$$\frac{1.125}{365}$$

第五 $\sqrt{208513}$ の結果を求めよ。

○筆算科 (第二)

第一 金壹圓に付米一斗六升換、麥一斗八升換にして、米四十俵と麥四十二俵と價相等し。但し各一俵の量、米は麥より三升少しと云ふ。問ふ、各一俵の容量幾何なるか。

第二 會社の準備金が資本の四分の一に達する迄、毎年の利益の二十分の一を積立つるものとせば、利益の割合と積立年間とは如何なる一定の割合に増減すべきや。

第三 酒商一升三十二錢の甲酒と、一升三十四錢五厘の乙酒とを、七と五との比に混じ、且水若干を加へ、一升三十五錢づゝに賣りて、二割の利を得べきもの七石九斗二升を得たりと云ふ。問ふ、甲乙の酒及水各幾何を用ひしや。

第四 或人年一割二分の配當金を得べき銀行株券若干を所有し、年々二千六百〇四圓を得べし。今之を三百三十五圓の相場にて賣拂ひ、其金を以て五銖利整理公債を百〇八圓五十錢の相場にて買ふときは、年々の所得幾何を増加すべきや。

第五 英貨ポンドは我七圓八十三錢四分三にして、佛貨フランクは我三十一錢三分二なるとき、英貨幣を買ふも恰も幾ポンドかを得べく、又佛貨幣を買ふも恰も幾フランクかを得べき我國の貨幣の最小額を求めよ。且つ此場合に於て買得べき英佛幣各幾何。

幣各幾何。

(注意)各問題共に式若くは演算を記し、且其理由を記せよ。又問題の答案を二ヶ所以上に認むべからず。

○幾何學

- 第一 N 角形の内角の和を求むる法如何。
- 第二 或弧の上に立つ所の中心に於ける角は同じ弧の上に立つ所の周に於ける角の二倍に等しきを證せよ。
- 第三 相平行せる二直線の一が或平面に垂直なるときは他の一も亦同じ平面に垂直なるとを證せよ。

○代數及三角術

第一 一次式を最簡にせよ。

$$\frac{a}{b} - \frac{a}{b} \div \frac{a}{b^2} - \frac{a}{b^2} \times \frac{1}{b+1} - \frac{1}{b-1} \div \frac{1}{b-1} \times \frac{1}{b+1}$$

第二 次の方程式を解け。

$$\frac{\sqrt{1+x} + \sqrt{1-x}}{\sqrt{1+x} - \sqrt{1-x}} = 3.$$

第五 $\sqrt{208513}$ の結果を求めよ。

○算 算 科 (第二)

第一 金壹圓に付米一斗六升換、麥一斗八升換にして、米四十俵と麥四十二俵と價相等し。但し各一俵の量、米は麥より三升少しと云ふ。問ふ、各一俵の容量幾何なるか。

第二 會社の準備金が資本の四分の一に達する迄、毎年の利益の二十分の一を積立つるものとせば、利益の割合と積立年間とは如何なる一定の割合に増減すべきや。

第三 酒商一升三十二錢の甲酒と、一升三十四錢五厘の乙酒とを、七と五との比に混じ、且水若干を加へ、一升三十五錢づゝに賣りて、二割の利を得べきもの七石九斗二升を得たりと云ふ。問ふ、甲乙の酒及水各幾何を用ひしや。

第四 或人年一割二分の配當金を得べき銀行株券若干を所有し、年々二千六百〇四圓を得べし。今之を三百三十五圓の相場にて賣拂ひ、其金を以て五割利整理公債を百〇八圓五十錢の相場にて買ふときは、年々の所得幾何を増加すべきや。

第五 英貨ポンドは我七圓八十三錢四分三にして、佛貨フランクは我三十一錢三分二なるとき、英貨幣を買ふも恰も佛貨ポンドかを得べく、又佛貨幣を買ふも恰も佛フランクかを得べき我國の貨幣の最小額を求め。且つ此場合に於て買得べき英佛

幣各幾何。

(注意)各問題共に式若くは演算を記し、且其理由を記せよ。又問題の答案をニヶ所以上に認むべからず。

○幾 何 學

第一 N 角形の内角の和を求むる法如何。

第二 或弧の上に立つ所の中心に於ける角は同じ弧の上に立つ所の周に於ける角の二倍に等しきを證せよ。

第三 相平行せる二直線の一が或平面に垂直なるときは他の一も亦同じ平面に垂直なるとを證せよ。

○代 數 及 三 角 術

第一 一次式を最簡にせよ。

$$\frac{a}{b} - \frac{a}{b} \cdot \frac{a}{b} \cdot \frac{1}{b+1} \cdot \frac{1}{b-1} \cdot \frac{1}{a} \cdot \frac{1}{b-1} \cdot \frac{1}{a} \cdot \frac{1}{b+1}$$

第二 次の方程式を解け。

$$\frac{\sqrt{1+a} + \sqrt{1-a}}{\sqrt{1+a} - \sqrt{1-a}} = 3.$$

第三 酒若干を入れたる樽の中より九升汲出して之を水にて補ひ、又其混合物九升を汲出して再び之を水にて補ひたるに、其樽の中の酒と水との比は十六と九の如くなれりと云ふ。最初樽の中に幾何の酒ありしか。

第四 A角の正弦と餘弦とを知りて3A角の正切を求む。

○自在書

人の顔

○投影書法

左に示めしたるは球體の平面圖なり。EFは其剖面にして、平面に正交し、立面と四十五度の角をなす。而してE及びFの位置は、AD及びCBの三分一に在り。又GKHLは立面に正交、平面に平行したる剖面にして、平面圖に在ては球と中心を同うす。此の平面圖に依り平面圖を作れ。

○球の直徑ABは二寸五分。剖面KMは一寸五分。

(注意) 虚線……に代ふるに細線——を以てすべし。○曲線を連接すべき諸點は極めて切要の部分な舉げ一々○印を記し置くべし。○答案は鉛筆を用うべし。○RSは根線なり。

東京商船學校

○漢文科

第一 劉淵與于左國城淵故南匈奴之後匈奴由漢魏以來臣中國其先世自以漢甥冒漢姓父豹爲左部帥生淵幼而雋異博習經史嘗曰吾耻隨陸無武遇高帝而不能建封侯之業絳灌無文遇文帝而不能與庠序之故豈不惜哉於是兼學武事姿貌魁偉初爲侍子在洛豹死武帝以淵代爲五部帥既而爲北部都尉五部傑多歸之及惠帝世以爲五部大都督成都王穎表爲左賢王嘗使將兵在鄴淵子聰亦驍勇絕人博涉經史善屬文彎弓三百斤淵從祖宣曰漢亡以來我單于徒有虚號無復尺土自餘王侯降同編戶今吾衆雖衰猶二萬奈何歛手受役奄過百年司馬氏骨肉相殘四海鼎沸左賢王英武超世復呼韓邪之業此其時也乃相與謀推之淵說穎請歸帥五部來助既至左國城宣等推爲大單于二旬間衆五萬都離石胡晉歸之者愈衆乃建國號曰漢稱漢王淵有族子曜生而眉白目有赤光幼聰慧有膽量亦好讀書屬文射能洞錢七寸至是爲淵將

第二 永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽山陰之蘭亭脩禊事也羣賢畢至少長咸集此地有崇山峻嶺茂林脩竹又有清流激湍映帶左右引以爲流觴曲水列坐其次雖無絲竹管絃之盛一觴一詠亦足以暢叙幽情是日也天朗氣清惠風和暢仰觀宇宙之大俯察品類之盛或因寄所託放浪形骸之外雖趣舍萬殊靜躁不同當其欣於所遇暫得於已快然自足不知老之將至及其所之既倦情隨事遷感慨係之矣向之所欣俯仰之間已爲陳迹猶不能不以之興

懐况脩短隨化終期於盡古人云死生亦大矣豈不痛哉每覽昔人興感之由若合一契未嘗不臨文嗟悼不能喻之於懷固知一死生爲虛誕齊彭殤爲妄作後之視今亦由今之視昔悲夫故列叙時人錄其所述前世殊事異所以興懷其致一也後之覽者亦將有感於斯文

○作文科

- 第一 友人の外國より歸るを賀す
- 第二 自ら重んずる説

○算數科

- 第一 $18\frac{1}{2} + 29\frac{3}{4} + 17\frac{1}{2} + 18\frac{1}{2} + 12\frac{1}{2} + 9\frac{1}{2} + 8\frac{3}{4} + 7\frac{1}{2} + 16\frac{1}{2}$
- 第二 馬車に御して走るに、一時四十二分三十六秒の間に四里三十五町十六間四尺八寸を經過せり。尙此の如く走るときは、以後二時三十三分五十四秒の間には幾何の距離を行くべきや。
- 第三 男女子及童兒の職工あり、男子一人にて十一時三十分間にて成る一事業を、女子は五人、童兒は十二人にて之れを成し得べしと云ふ。今其事業を男子一人、女子二人、童兒三人にて共に働く時は、幾時間にて成し得べきや。
- 第四 九百人の兵士を率て一塞を成るに、毎日一人に二斤の糧食を給すとして四十日の貯へあり。然るに十日の後敗兵三百人加はりたるを以て、毎日一人に給す

る所の糧食を一斤半に減少し、以て糧食の輸入を待んとす。然るときは尙幾日を支ふべきか。

- 第五 甲乙丙の農夫三十町七反五畝歩の曠野を開墾するに、甲と乙とは十四分の五と一との如く、乙と丙とは十一分の七と一との如く、之れを拓きしと云ふ。因て各開墾せし町歩幾何なるや。
- 第六 面積積十一個四十八分の十一なる數あり、之れを平方形とすれば其一方の數幾何なるや。但し小數九位迄算出すべし。
- 第七 一升樹は四寸九分方にして深さ二寸七分なり。今之れと相似形の五合樹を作らんとするには其方及深さ各幾何なるや。但し以下五位迄算出すべし。

○代數學

- 第一 $\frac{x-y}{1+xy} \div \frac{1}{x-1+\frac{1}{1+\frac{x}{4-x}}}$ 之れを最簡にすべし。
- 第二 $\frac{4x+18\frac{1}{2}}{4x+5} = \frac{3x+6\frac{3}{4}}{4x-3\frac{1}{2}} + \frac{1}{4}x$ の價如何。

第三 $\frac{1}{2}x + \frac{1}{3}y = 12 - \frac{1}{6}z$
 $\frac{1}{3}y + \frac{1}{4}z = 8 + \frac{1}{2}x$ } x, y, z の價各如何。
 $\frac{1}{4}x + \frac{1}{5}z = 10$

第四 $6x - \frac{25ab}{6x} = 5(a-b) - \frac{(a+b)^2}{x}$ この價如何。

第五 二位の數あり、其各位の和は其差の六倍にして、本數は各位の和の六倍より多きと三なりと云ふ。本數如何。

第六 甲乙の兩人四十八里の道程を旅行するに、甲より乙は毎時に二里少く歩行して二時間多く旅行すと云ふ。然るときは甲毎時の里數如何。

○幾何學

第一 甲乙の二線及一角あり、其甲線を兩邊の和とし、乙線を底邊とし、一角を頂角として三角形を畫くと如何。

第二 一線あり、之れを一邊として正八角形を畫くと如何。

第三 平行線の間の一圓あり。此圓に觸れ且つ平行の兩線に觸るゝ處の圓を畫くと如何。

第四 三角形兩邊の平方の和は、頂角より底邊の中分點に至る線の平方の二倍と、

底邊の半の平方の二倍との和に等し。其證如何

第五 四角形の一邊中に一點あり。此點より本形を平分すると如何。

第六 三角形あり、之れと等積にして、其大なる邊を一邊として、菱形を畫くと如何。

○英語科

和文英譯

本島は千島列島の極北に位し、地勢は殆んど直角四邊形をなし、南北に長く東西に短し。其大さ北東より南西に至る、約十五里。北西より南東に至る、約十里なり。平丘、坦陵、連接し、沼澤原野ありて、水草青々たり。明治九年頃には、島内に二村ありて、戸數九軒、人口三十五を有せり。其人種は千島固有のものにして、皆穴居なり。一般の風習甚だ善良にして、相助け、相補ひ、各戸貧富苦樂を共にして、鬮村恰も一家の如くなりしと云ふ。

英文和譯

1. Contentment is more to be valued than great riches.
2. He that is soon angry death foolishly and a man of wicked devices is hated.
3. The evil bow before the good; and the wicked at the gate of the righteous.

4. The poor is despised even by his own neighbour; but the rich have many friends.
5. Hope deferred makes the heart sick; but when it comes, it is a tree of life.
6. He that walks with wise men shall be wise; but a companion of fools shall be destroyed.
7. He that spares the rod hates his son; but he that loves him chastises him betimes.
8. A talebearer reveals secrets; but he that is of a faithful spirit conceals them.
9. He that keeps the law is a wise son; but he that is a companion of riotous men shames his father.
10. As cold water is to a thirsty man, so is good news from a far country.

CONVERSATION.

1. { Where is your native place?
How long is it since you left there?
Did you leave your home direct for Tokio? }

2. { How many schools have you attended in Tokio?
Have you received instruction from European or Japanese? }
3. { What made you decide on a seafaring life?
Are any of your relations in the same profession?
Which do you like best, your native place or Tokio? }
4. { Why?
How did you pass your days, when you were living there?
How did you travel from your native place to Tokio? }

DICTATION.

MOSQUITOES IN INDIA.

In the sleeping apartments of India, great care is taken to secure coolness. The beds which are always large and hard, are generally placed as nearly as may be in the very middle of the apartment, in the line of the fresh through draught which open door and windows can command. Round each bed is suspended a gauzy curtain, without which sleep would be as effectually murdered as ever it was by any tragedy king. For, if even one villainous mosquito continues to gain admission into your fortress, you may, for that night, bid good-bye, not only to sleep but to temper, and almost to health. I defy the most resolute, the most serene, or the most robust person that ever lived between the tropics to pass a whole

night in bed, within the curtain of which a single mosquito has entered, and not be found, when the morning comes, in a high fever.

海軍大學校

(明治二十七年一月、海軍大學校に於て行はれたる將校科入學試験の問題を實地受験者の手より得たれば、此處に掲載して以て前途有望の讀者に示さん。)

○對策

本邦沿岸防禦の大方針

○英文和譯

A council of war was held in the afternoon. It was apparent that the Danes could not be attacked without great difficulty and risk; and some of the members of the council spoke of the number of the Swedes and Russians whom they should afterwards have to engage as a consideration which ought to be borne in mind. Nelson, who kept pacing the cabin, impatient as he ever was of anything which savoured of irresolution, repeatedly said, "The more numerous the better: I wish they were twice as many—the easier the victory, depend on it." The plan upon

which he had determined was to attack the head of their line, and confuse their movements. "Close with a Frenchman," he used to say, "but out-manoeuvre a Russian." He offered his services for the attack, requiring ten sail of the line and the whole of the smaller craft. Sir Hyde gave him two more line-of-battle ships than he asked, and left everything to his judgement.

The enemy's force was not the only, nor the greatest, obstacle with which the British fleet had to contend; there was another to overcome before they could come in contact with it. The channel was little known and extremely intricate: all the buoys had been removed, and the Danes considered this difficulty as almost insuperable, thinking the channel impracticable for so large a fleet. Nelson himself saw the soundings made and the buoys laid down, boating it upon this exhausting service, day and night, till it was effected.

尙此外に佛文和譯の新聞題をも得たれども、不明の所尠ならずれば、更に照會校訂の上本年次期の出版に係る遊學案内に掲載せん。

○代數學

$$1. \text{ Simplify } \frac{x^2 - x + 1}{x^2 + x + 1} + \frac{2x(x-1)^2}{x^4 + x^2 + 1} + \frac{2x^2(x^2-1)^2}{x^8 + x^4 + 1}.$$

2. A, B, C are employed on a piece of work. After 3 days A is discharged when $\frac{1}{3}$ of the work has been done. After 4 days more B is discharged, another third of the work being done. C then finishes the work in 5 days. Find in how many days each would separately do the work.

3. If $s = \frac{1}{2}(a+b+c)$ shew that $\{(s-b) + (s-c)\}^3 = (s-b)^3 + (s-c)^3 + 3a(s-b)(s-c)$.

4. Solve the equation $4\sqrt{2x^3-7x} = 12 + 7x - 2x^2$.

5. Solve the equation $\frac{(x+a)(x+mb)}{(x-ma)(x-b)} = \frac{(mx+a)(x+b)}{(x-a)(mx-b)}$.

6. If α and β be the roots of the equation $ax^2 + bx + c = 0$, form the equation with the coefficients expressed in terms of a, b, c such that its roots are $\frac{\alpha}{\beta}$ and $\frac{\beta}{\alpha}$.

7. Express the harmonic mean between two given quantities m and n .

8. Shew that the number of combinations of n things taken r at a time is equal to the number of combinations of n things taken $n-r$ at time.

9. Shew that in the expansion of $(1+x)^n$, the sum of the coefficients is equal to

2^n , n being any positive integer.

10. Expand $(3a-2x)^3$ to six terms in ascending power of x .

練習問題

1. Explain the rule of identity giving a geometrical example.

2. A quadrilateral whose diagonals bisect each other is a parallelogram.

3. AB is any chord of a circle whose centre is O . AC is drawn at right angles to the tangent BC at B . Shew that AB bisects the angle CAO .

4. To draw common tangents to two given circles.

5. To draw a straight line OBC through a point O without the given angle BAC , so that OB may be twice BC .

6. The area of a plane triangle is half that of a rectangle with the same base and height.

7. In a right-angled plane triangle the square on the hypotenuse is equal to the sum of the squares on the two sides.

8. Compare the areas of two regular plane polygons having the same number of sides.

9. To draw a normal to a given plane from a point not in the plane.
10. Every section of a sphere made by a plane is a circle.

○三 角 術

1. When we speak of the circular measure of an angle, what do you understand of the unit employed in that case?
2. Find all the values of x between $\pm \frac{5\pi}{2}$ satisfying the equation, $\sin x = \frac{1}{2}$.
3. If $A + B = 90^\circ$, shew that $\tan A + \tan B = \frac{a}{\sin 2A}$.
4. Shew that $\cos A - \cos B = 2 \sin \frac{A+B}{2} \sin \frac{B-A}{2}$.
5. Reduce $\sin 2A + \sin 2B + \sin 2C$ to a single term where $A + B + C = 180^\circ$.
6. Shew how to calculate a in a plane triangle ABC , when B, C and A are given.
7. The height of a house subtends a right angle at an opposite window, the top being 60° above a horizontal straight line: find the height of the house, the breadth of the street being 30 feet.
8. Shew that the area of a plane triangle ABC is given by the expression

$$\sqrt{\{s(s-a)(s-b)(s-c)\}} \text{ where } s = \frac{1}{2}(a+b+c).$$

9. Explain Napier's "Rules of circular parts" for a right-angled spherical triangle.
10. M and N are two points in the celestial equator apart by a quadrant from each other, P is the celestial north pole and S any northern star: shew that

$$\cos^2 \widehat{SM} + \cos^2 \widehat{SN} + \cos^2 \widehat{SP} = 1.$$

海軍兵學校

(東京及び江田島の兩所に於て行はれたる二十七年年度の入學試験新問題は左の如し)

○漢 文 科

第一 外史氏曰、予修將門之史、至於平治承久之際、未嘗不舍筆而歎也、嗚呼、世道之變、名實之不相譬、一至於此歟、古之所謂武臣者、勤王云爾、如源氏平氏、莫不皆然、至於平治之後、乘綱維之弛、以逞鷓鴣之欲、有暴悍無忌者焉、有雄猜匪測者焉、雖所爲不同、而其蔑王憲營私利一耳、然猶有可言、曰王族也、將家也、至於北條氏、以將門屬隸、而坐制朝廷、天下之事、不復忍言也、且夫承久之事、孰曲

孰直、筆而傳之者、皆出北條氏盛時、今安考信焉、况君臣之際、寧可較曲直也、乃指斥憑怒、極其凌辱、視萬乘之尊不啻如孤豚、嗚呼、八洲生民、誰不被先王之遺澤、當時所謂武士者、狂其家養、供其使噉、雖名位族望遠出其右者、奔走驅馳甘爲之役之不暇、氣類所召、習以爲常、豈可勝言哉、即稱爲公卿者、平時趨踰朝廷之上、取天子之爵秩、以驕天下、而及於此際、未嘗畫一策以救危難、袖手傍觀、以聽其所爲、是曷尤於武人邪、雖時勢有所未可、君德有所未洽、以致乎此禍、而亦臣子之罪矣、自是以來、百餘年間、廢立黜陟一仰其處分、而朝廷盛々如被束縛、至於窺其顏色以爲憂喜、何其甚也、余聞、後鳥羽上皇之徒隱岐也、因石窟縛屋、纒庇風雨、十有九年乃崩、蓋父子三帝隔絕千里、各居窮海、終天不得相見、是其心何嘗一日忘北條氏哉、則元弘之事萬不可已也、而其勤王之功、余以楠氏爲第一、微楠氏、則西狩之駕、吾見其與承久歸一轍而止而已、何哉、彼北條氏雖失於政、其權力有更甚焉、藉累世之威、而加積弱之餘、百萬虎狼、隨其指呼、咆哮中國、莫之或撓、天下方以承久爲戒、重踵屏息、莫敢言勤王之事、而楠公獨以眇々之軀、唱義其間、當其衝路、挫其爪牙、以鼓舞四方義士之氣、使之一時踵起、殄戮元惡於斧鉞之下、報列聖之深仇、雪累朝之大恥、天下萬姓、再得仰日月之光、雖曰屬皇運之泰、而非公爲之唱、焉能至此、是焉知非天生斯人以匡濟世道哉、中略要之、位不滿其器、莫能展其才、而終

能以躬殉國、靖獻先王、餘烈所及不獨其子孫、自公卿、自將士、各執其節、以勤王事、概曾聞楠氏之風而起者也、嗚呼、如楠氏者真可謂不愧武臣之名矣、(楠氏、人名、地名、姓名)

第二 伍子胥數諫吳王不聽子胥使於齊臨行謂其子曰昔數諫王王不用吾今見吳之亡矣汝與吳俱亡無益也乃屬其子於齊鮑叔而還報吳吳太宰駱既與子胥有隙因曰子胥爲人剛暴少恩猜賊其怨望恐爲深禍也前日王欲伐齊子胥以爲不可王卒伐之而有大功子胥恥其計疎不用乃反怨望而今王又復伐齊子胥專懷憂懼沮廢用事徒幸吳之敗以自勝其計疎耳今王自行悉國中武力以伐齊而子胥不用因懼附伴病不行王不可不備此起禍不難且詔使人微伺之其使齊也乃屬其子於齊之鮑氏夫爲人臣內不得意外倚靠侯自以爲先王之謀臣今不見用常缺々怨望願王早圖之吳王曰微子之言吾亦疑之乃使使賜伍子胥屬劍之劍曰子以此死伍子胥仰天嘆曰嗟乎誰臣詔爲亂吳王乃反殺我我今若父自若未立時諸公子爭立我以死爭之於先王幾不得立若既得立欲分吳國與我我雖不取也然今若聽諛臣言以殺長者乃告其舍人曰必樹吾墓上以梓令可以爲器而後吾墓與東門之上以觀越寇之入滅吳也乃自刎死、(同)

第三 漢使成育曰匈奴俗賤老中行說窮漢使曰而漢俗也成從軍嘗言其老親豈有不

孰直、筆而傳之者、皆出北條氏盛時、今安考信焉、况君臣之際、寧可較曲直也、乃指斥憑怒、極其凌辱、視萬乘之尊不啻如孤豚、嗚呼、八洲生民、誰不被先王之遺澤、當時所謂武士者、狂其豢養、供其使噉、雖名位族望遠出其右者、奔走驅馳甘爲之役之不暇、氣類所召、習以爲常、豈可勝言哉、即稱爲公卿者、平時趨踰朝廷之上、取天子之爵秩、以驕天下、而及於此際、未嘗畫一策以救危難、袖手傍觀、以聽其所爲、是曷尤於武人邪、雖時勢有所未可、君德有所未洽、以致乎此禍、而亦臣子之罪矣、自是以來、百餘年間、廢立黜陟一仰其處分、而朝廷盛々如被束縛、至於窺其顏色以爲憂喜、何其甚也、余聞、後鳥羽上皇之徙隱岐也、因石窟縛屋、纒庇風雨、十有九年乃崩、蓋父子三帝隔絕千里、各居窮海、終天不得相見、是其心何嘗一日忘北條氏哉、則元弘之事萬不可已也、而其勤王之功、余以楠氏爲第一、微楠氏、則西狩之駕、吾見其與承久歸一轍而止而已、何哉、彼北條氏雖失於政、其權力有更甚焉、藉累世之威、而加積弱之餘、百萬虎狼、隨其指呼、咆哮中國、莫之或撓、天下方以承久爲戒、重踵屏息、莫敢言勤王之事、而楠公獨以眇々之軀、唱義其間、當其衝路、挫其爪牙、以鼓舞四方義士之氣、使之一時踵起、殄戮元惡於斧鉞之下、報列聖之深仇、雪累朝之大恥、天下萬姓、再得仰日月之光、雖曰屬皇運之泰、而非公爲之唱、焉能至此、是焉知非天生斯人以匡濟世道哉、中略要之、位不滿其器、莫能展其才、而終

能以躬殉國、靖獻先王、餘烈所及不獨其子孫、自公卿、自將士、各執弓箭、以勤王事、概皆聞楠氏之風而起者也、嗚呼、如楠氏者真可謂不愧武臣之名矣(勳點、人名單註、地名双柱)

第二 伍子胥數諫吳王不聽子胥使於齊臨行謂其子曰吾數諫王王不用吾今見吳之亡矣汝與吳俱亡無益也乃屬其子於齊鮑叔而還報吳吳太宰嚭既與子胥有隙因讒曰子胥爲人剛暴少恩猜賊其怨望恐爲深禍也前日王欲伐齊子胥以爲不可王卒伐之而有大功子胥恥其計謀不用乃反怨望而今王又復伐齊子胥專懷彊諫沮毀用事徒幸吳之敗以自勝其計謀耳今王自行悉國中武力以伐齊而子胥諫不用因輕謝伴病不行王不可不備此起禍不難且詭使人微伺之其使齊也乃屬其子於齊之鮑氏夫爲人臣內不得意外倚諸侯自以爲先王之謀臣今不見用常缺々怨望願王早圖之吳王曰微子之言吾亦疑之乃使使賜伍子胥屬鏃之劍曰子以此死伍子胥仰天嘆曰嗟乎讒臣詭爲亂矣王乃反誅我我令若父霸自若未立時諸公子爭立我以死爭之於先王幾不得立若既得立欲分吳國與我我顧不敢望也然今若聽諛臣言以殺長者乃告其舍人曰必樹吾墓上以梓令可以爲器而抉吾眼懸吳東門之上以觀越寇之入滅吳也乃自刎死(同)

第三 漢使或言曰匈奴俗賤老中行說窮漢使曰而漢俗屯戍從軍當發者其老親豈有不自脫溫厚肥美以齎送飲食行戍乎漢使曰然中行說曰匈奴明以戰攻爲事其老弱不能鬪故

以其肥美飲食壯健者蓋以自爲守衛如此父子各得久相保何以言匈奴輕老也漢使曰匈奴父子乃同穹廬而臥父死妻其後母兄弟死盡取其妻妻之無冠帶之飾闕庭之禮中行說曰匈奴之俗人食畜肉飲其汁衣其皮畜食草飲水隨時轉移故其急則人習騎射寬則人樂無事其納東輕易行也君臣簡易一國之政猶一身也父子兄弟死取其妻妻之惡種姓之失也故匈奴雖亂必立宗種今中國雖詳不取其父兄之妻親屬益疎則相殺至乃易姓皆從此類且禮儀之敝上下交怨望而室屋之極生力必屈夫力耕桑以求衣食築城郭以自備故其民急則不習戰功緩則罷於作業嗟土室之人願無多辭令喋々而佔々冠固何當 (同)

○算術科

- 第一 8862777 を素因數に分解すべし。
- 第二 下の數の六乗根を求む。
- 第三 循環小數 0.00369 と同 0.142857 に除し、其商を循環小數にて與ふべし。
- 第四 下の複雑したる分數を簡約にせよ。

$$\frac{1 - \frac{7}{22}}{1 - \frac{11}{11}} + \frac{1 \frac{2}{5}}{1 - \frac{1}{3}} - \frac{5 \frac{5}{8}}{6 - \frac{1}{4}}$$

$$\frac{1 - \frac{1}{2} - \frac{1}{3}}{5 - \frac{3}{4} - \frac{3}{9}}$$

$$\frac{5 \frac{3}{4} + 2 \frac{2}{35} + 1 \frac{11}{25} - \frac{3}{7} \times 15 \frac{3}{4}}{\frac{3}{4} \times 7 \frac{3}{7} - 5 \frac{3}{5} \div 3 \frac{4}{15}}$$

第五 一商船の積荷の十三分の一は鉄材にして、其残りの十三分の一は穀物なり、又其残りの十三分の一は船員の食料なりとす。而して此外に石炭千七百二十八噸を投載せり。然らば鐵材穀物食料の額は各幾噸なりや。

第六 米國某府の現在の人口は四十八万九千八百二十二にして、今より十年前には三十二万六千五百四十八人なりしと云ふ。此割合を以て増加せば、四十年の後には其人口は幾何となるべきか。但人口は重利息の如く増加するものとす。

代 數 科

第一 下の式中 $a=-1, b=1, c=2$ とすれば、其多寡 (value) 如何。

$$\left(\frac{a^2b - a^2 + c}{c} - \frac{a^2}{bc^2} + \frac{c}{b} - \frac{2a^2}{b} + \frac{3a}{4b}\right) \times \sqrt{a^2 + b^2 + c}$$

第二 二式の相乗積を其最低公倍式 (Lowest common multiple) にて除すれば、其最高公因子 (Highest common factor) を得。其證を求む。

第三 $2ax^2 - 3axy^2, 3x^{-1} + 2y^{-1}$ 及び $4x^2y^2 + 9x^{-1}y^2$ の相乗積を求む。

第四 二式 $x^2 + x - a$ 及び $x^2 - x - a$ 若し一個の公因子を共有すとせば、 a の多寡如何。但し a は零ならざるを要す。

第五 $2a^2 - a - 1$ 及び $2a^3 + a^2 + 2a + 1$ の最低公倍式を求む。又

$$\frac{3}{2a^2 - a - 1} + \frac{1 - 3a}{2a^3 + a^2 + 2a + 1}$$
 を最簡に約せば如何。

第六 $\frac{3x-2}{4} + \frac{x-11}{2} = \frac{x-4x-9}{3}$ 一より x を出せ。

第七 國會代議士選舉の時、甲乙二人其候補者として相争ふ。甲は三十票の多數にて當選せり。然るに次回の選舉に於ては、甲に荷擔する選舉人の毎十二人の

一人が乙に投票し、因て甲は十票の少數にて失敗したり。問ふ選舉人の總數如何。

第八 下の二式を最簡に約せよ。

$$\sqrt{(12+2\sqrt{35})}; \frac{(\sqrt{5} + \sqrt{3})^5 - (\sqrt{5})^5 - (\sqrt{3})^5}{(\sqrt{5} + \sqrt{3})^3 - (\sqrt{5})^3 - (\sqrt{3})^3}$$

第九 $x^4 + px^3 + x^2 \left(\frac{p^2}{4} + 2s^2\right) + s$ の二乗根 (square root) を求む。

第十 一聯隊の甲乙二大隊出陣のとき、其兵員の比は九と十一の如くなりしが、其日の戦終りて點檢せしに、五と八との如くになれり。甲乙二兵員合計の百分の三十五は死傷脱隊者にして、此死傷脱隊者の中にて三百六十九人は乙隊に附屬せし者と云ふ。然らば出陣のときの兵員各如何。

第十一 $\frac{a}{b} = \frac{c}{d} = \frac{e}{f} = \dots$ 等なる者は、此比の各々、亦

$$\left(\frac{ma^r + nc^r + pe^r + \dots}{mb^r + nd^r + pf^r + \dots}\right)^{\frac{1}{r}}$$
 に等し。其證を求む。

第十二 $\frac{a}{b} = \frac{b}{c}$ なるときは $a:b::\frac{b^2}{a-b}:\frac{c^2}{b-c}$ となる。其證如何。

第十三 $x(x+3) = -4$ より x の多寡を算出せしめて、直ちに $x(x^2-5)$ の多寡を求む。

第十四 $3x^2 + 5xy = 22$ 及び $11xy - 3y^2 = 19$ の二式に相應する x 及び y の多寡を
求む。

第十五 $2x + y + 3z = 15$, $5x - 2y + z = 22$ 及び $7x + 3y - 2z = 39$ の三式に相應する
 x, y 及び z の多寡を求む。

○幾何學

第一 三角形の二邊相等しきときは之れに對する二角も亦相等し。

第二 一直線他の二直線と交りて相等き錯角(alternate angles)を作るときは、此二
直線相平行す。

第三 一直線中に設けたる一點より、此直線に垂線を作るとを求む。

第四 凡そ三角形に於て鋭角に對する邊の上の正方形は、他の二邊の上の正方形
の和より小なると、其一邊及他の邊の射影(projection)にて作れる矩形(rectangle)
の二倍なり。

第五 與へられたる直線形に等き正方形を作るとを求む。

第六 弦の中點に於て弦と直角に交る直線は、圓心を通すべし。

第七 同一一直線中に在らざる三點を通過する圓周は唯一あるのみ。

第八 圓周に於ける角は同弧の上に立つ所の中心の角の半なり。

○平三角術

第一
$$\frac{\sin \frac{x}{4} + \sin x + \sin \frac{7x}{4}}{\cos \frac{x}{4} + \cos x + \cos \frac{7x}{4}}$$
 を最簡に約せよ。

第二 下の方程式より x の多寡を求む。

$$\tan^{-1} \frac{x-1}{x-2} + \tan^{-1} \frac{x+1}{x+2} = \frac{\pi}{4}$$

第三 平行四邊形 $ABCD$ に於て、其二邊 $AB=a$, $AD=b$ 及び一角 $BAD=\theta$ を
知りて、其對角線 AC 及 BD の長さの二乗の差、即ち $AC^2 - BD^2$ を求む。

第四 三角形 ABC の三角を A, B, C を命じ、其對邊を夫々 a, b, c を命じ。
以下の問題之に従ふべし。

三角形 ABC に於て $a=934$, $b=1234.5$, 及び $B=90^\circ$ なるを知り以て A 角
を求む。

但し $\log_{10} 934 = 2.970347$, $\log_{10} 1234 = 3.091315$, $\log_{10} 1235 = 3.091667$,

$\log_{10} \sin 49^\circ 3' 30'' = 1.878820$ 及び $\log_{10} \sin 49^\circ 10' = 1.878875$ なるを知る。

第五 三角形 ABC に於て $a=58$, $b=46.4$, $c=34.8$ を知り、其積及び

△角を求む。
 第六 三角形 ABC に於て $a = 346$, $A = 45^\circ$, $B = 60^\circ$ を與ふに於て c を求む。但し小數點以下二位を斷ち。
 ○按 文 和 體

1. No sooner had Mary ascended the throne than a total change of men and measures took place.
2. Naval distinction was the object of all his hope and pride; it was the only light that led him on and cheered his way, and whatever intervened left him in darkness and dreariness of heart.
3. It is unwise to boast before, for the event may prove disastrous; and it is superfluous to boast afterwards, for the event speaks for itself.
4. Finding it impossible to bring the enemy to equal combat, and fearing the arrival of additional force, which he understood was on the way, Captain Porter determined to put to sea the first opportunity that should present.
5. And thus the chief informed each general of the monument of the others with whom he was to cooperate, so that all might act in harmony. The web was com-

plicated, but the threads were held in a single hand.

6. (a). No man can guess in cold blood what he may do in a passion.

(b). In taking revenge, a man is but even with his enemy; but passing it over, he is superior.

7. It was in the month of August, 1756, that the Seven Year's War commenced Rallying his men and his courage, Frederick II. turned upon his foes, and in the short space of thirty days he had extricated himself, with dazzling glory. His genius set all the world to wondering. But even victories drained his strength. Men and money alike failed him. It was impossible for him to strike another great blow, and the ring of enemies closed slowly round him. It was, in fact, only his dogged resolution, and a sudden change in the policy of Russia, which followed on the death of his enemy the Czarina Elizabeth, that enabled him at last to retire from the struggle without the loss of an inch of territory.

GLOSSARY.

Intervened, interposed.

Dreariness, state of being gloomy.

Disastrous, calamitous; gloomy.
Superfluous, unnecessary.

Cooperate, to work or act conjointly for the same end.

Rallying, collecting.

Extricated, freed from difficulties.

Dazzling, splendid.

Drained, exhausted.

Dogged, obstinate.

○和文英譯

第一 六月は梅雨と稱し、降雨多き時節なり。

第二 富士山の頂には、盛夏の候、尙殘雪あり。

第三 先日はつい御約定を破りましたが、明日こそは、雨が降らうが鈴が降らうが、必ず參上致します。

第四 死は易く、死に處するは難し。

第五 ビーターを大帝と稱するは、其謂なきに非らず。彼は幼時教育を受けたることなく、又蚤く孤となりたれども、能く百難を排して露國中興の大業を全ふせり。

○英文法

1. Why should the past tense be used instead of the present perfect in the following sentence:

(a) I have first gone to a primary school when I was six years old.

Correct the following sentences, and give your reasons for the corrections:

(b) Which are largest city at England?

(c) I returned with them my native place.

2. Write the following incorrect sentences correctly.

(a) I wish to try a travel at this summer vacation to many countries in Japan.

(b) The season being able for travel the steam boat is going at every day from Hiroshima to Miyajima.

(c) As I am very much fond to enter imperial Naval College. I was very busy to prepare to entering examination.

3. Write a composition, containing about seventy words, on the following subject:

The Last School in which I Studied.

○英文書取

If the enemy's artillery fire has not been subdued it will be best to limber up behind the height, and if the nature of the country permit of it, and there is no need to make a rapid movement, it will be best to follow the line of the crest as long as possible, and to advance in column of sections, or perhaps column of route, an advantage always being taken of any concealment that the configuration of the ground may afford.

○英會話

1. At what time in the morning do you usually rise, and what are you accustomed to do first?
2. Where have you studied longest, and tell me when you entered and left the place?

○作文科

- 第一 徳川家康論
- 第二 北海道に遊ぶの記

尙武論

出陣に臨んで別を父母に告ぐる書

(注意) 論のうち一題、記書のうち一題を撰み、眞片假名にて書すべし。但し毎篇二百字以上を要す。

○自在書

- 第一 船の正面に遠き高山あり。左方甚高からさる山と、右方峻しき岬とにて港口を挟む。但し右は左よりも近し。岬の傍の礁上に燈臺あり。其他は各自の意匠に任す。
- 第二 枯木に適宜に葉を添へよ。

○幾何書法

- 第一 一角あり、之を二等分する法。
- 第二 一線あり、之を數多に等分する法。
- 第三 圓の中心を求むる法。
- 第四 正方形内に等邊八角を畫く法。
- 第五 等邊三角形内に最大なる三個の等圓を畫く法。
但し各圓は他の二圓と三角の兩邊とに觸るゝを要す。
- 第六 與へられたる長短の兩徑を有する橢圓を畫く法。
但し數多の點を求め、之を連続して橢圓を形成するを要す。

○地理科

- 第一 赤道、二至線、二極圈及び五帶を説明せよ。
- 第二 五大洲中其面積に比して海岸線の延長最大なる洲は孰れなるや。
- 第三 亞細亞大陸の惠岬 (East Cape) より、ローマニヤ (Romania) 岬に至る太平洋海岸の略圖を畫き、沿岸の島嶼(柯太島、千島、日本本地、四國、九州、琉球、臺灣、香港、瓊州又名海南)及び海、灣、港、海峽(ペーリング海、オコック海、黃海、日本海、支那海、東京灣、直隸灣、暹羅灣、韃靼灣、宗谷海峽、朝鮮海峽、浦鹽斯德、仁川、上海)の位置を圖上に示せ。
- 第四 世界中最も著名なる鐵、石炭の産地を問ふ。
- 第五 一船あり、横濱港を發し、印度洋を歴て土都君士坦丁堡に航するとせば、其經過する所の著名なる海、灣、海峽、及び岬角の名稱を問ふ。併せて各地間の航路の方向を示せ。
- 第六 日本帝國の境界及び面積を問ふ。
- 第七 東京灣内に在る著名なる港を列記せよ。
- 第八 瀬戸内と稱する區域を問ふ。且つ沿岸の國名を列記せよ。
- 第九 六師團三鎮守府の所在地を問ふ。
- 第十 八道の名稱を問ふ。

○地 文 科

- 第一 風は何に因りて起るや。北貿易風の方法は如何。其理を示せ。
- 第二 我國夏季に東南風多く、冬季に西北風多き理何如。
- 第三 黒潮(又名日本海流)の我國の氣候に及ぼす所如何。
- 第四 潮汐の高低は洋中海岸孰れか尤甚しきや。其高低の尤甚しかるべき地形は如何。
- 第五 泉は如何して生ずるや。噴泉に幾んど一定の時を以て或は湧出し或は歇止する者あり。之を間歇泉 (Intermittent spring) と稱す。其理を問ふ。

○歴 史 科

- 第一 左の役の國名及首將の名を記せ。
姉川 關ヶ原 小牧 桶狭間 山崎 小田原
- 第二 皇國文明進歩の大關鍵を、順を逐ふて列記せよ。
- 第三 支那戰國七雄の國名及其所在の方位を問ふ。
- 第四 長篠役とウァーターロー役とに相似たる狀を擧げよ。
- 第五 亞米利加合衆國南北戰は何に因りて起りしや。兩軍の大將は誰ぞや。

○物 理 學

- 第一 鐵の薄板の重心を實測する方法を詳述せよ。
- 第二 金塊の比重を實測する方法を詳述せよ。
- 第三 水入に二個の穴ある理を述べよ。
- 第四 アルコールの如き蒸發し易き液を皮膚上に散布するときは、寒冷を感ず。其理を述べよ。
- 第五 光線の反射 Reflection 及屈折 Refraction の法則を述べよ。

海軍機關學校

(昨年二十七年度の機關學校入學試験は海軍兵學校將校科生徒の試験と同様のものなりしが、尙参考の爲め一昨年度別々に行はれたる機關科生徒の入學試験問題を示すこと左の如し。)

○漢文科

第一 加藤左馬助嘉明沈勇而有識量、其待諸臣恩威兼洽、嘗好聚舶載琵琶、每明商至長崎、託而致之、家有青瑩鐘子淺碟各十枚、嘉明最愛玩之、有佳客輒供之、一日侍臣某誤墜之地破其一枚、侍臣思主怒、恐惶待罪、嘉明聞之、如有所思、乃召侍臣曰、汝勿患、我豈爲小過棄一士耶、因呼取其餘九枚盡毀之、曰、汝等勿謬以我爲洩憤之舉、吾有所大悔也、願使此器永存、每後來供客、人必曰、某年某日某姓名破

其一、是以唯九、此則以器玩之故、永遺一士罪名也、吾心所甚憎、是以如此、蓋自此絕意不復愛奇物。

第二 明主翊鈞聞秀吉兵入韓則恐、會其國西北邊有亂、大將李如松率諸軍屯寧夏、國都兵寡、明主召其大臣、問韓當援否、大臣曰、和窺明久矣、而明之屏在韓、々先被和兵、而明不援、韓且折而入和、々韓爲一、分利於明、合兵戮力以出遼東、則勢如建瓴水于屋矣、願韓民畏和兵、而心不服焉、我遣一將助韓王以招聚之、因其力以捍禦東北、是名以明援韓、而其實以韓援明也、明何患於和哉、明主從之、遣其將祖承訓史儒算援韓、二將皆遼東勇將、數與胡戰有功、甚輕和人、和人前掠明疆者、皆海盜、甲仗敵惡、明人狂見之、以爲豐臣氏兵亦如是也、於是、至嘉山、問韓人曰、平壤和兵無乃走乎、曰否、承訓舉酒祝曰、天使我成大功也、進舍順安營未定、行長偵知、夜遣輕卒劫其營、營亂、乃笑曰、此虜亦易與耳、明日自往、與明軍戰于安定、旗幟偉麗、人馬皆被鬼頭獅面、明馬駭、行長麾兵蹂之、儒算下馬鬪中丸斃、時霖雨、我兵迫明人於淖、擊蹙之、承訓挺身而走。

第三 契丹寇澶州、邊書告急一夕五至、中外震駭、寇準不發、飲笑自如、眞宗聞之、召準問計、準曰、陛下欲了此、不過五日、願駕幸澶州、帝難之欲還內、準請毋還而行、乃召群臣議之、王欽若臨江人請幸金陵、陳堯叟閬州人請幸成都、準曰、陛

- 第一 鏡の薄板の重心を實測する方法を詳述せよ。
- 第二 金塊の比重を實測する方法を詳述せよ。
- 第三 水入に二個の穴ある理を述べよ。
- 第四 アルコールの如き蒸發し易き液を皮膚上に散布するとき、寒冷を感ず。其理を述べよ。
- 第五 光線の反射 Reflection 及屈折 Refraction の法則を述べよ。

海軍機關學校

(昨年二十七年度の機關學校入學試験は海軍兵學校附科生徒の試験と同様のものなりしが、自學者の爲め一昨年度別々に行はれたる機關科生徒の入學試験問題を示すこと左の如し。)

○漢文科

第一 加藤左馬助嘉明沈勇而有禮量、其待諸臣恩威兼洽、善好乘船遊覽器、每明商至長崎、託而致之、家有青瓷罐子罐碟各十枚、嘉明最愛玩之、有佳客輒供之、一日侍臣某誤墜之地破其一枚、侍臣思主怒、恐惶待罪、嘉明聞之、如有所思、乃召侍臣曰、汝勿患、我豈爲小過棄一士耶、因呼取其餘九枚盡毀之、曰、汝等勿懼以我爲洩憤之舉、吾有所大悔也、願使此器永存、每後來供客、人必曰、某年某日某姓名破

其一、是以唯九、此則以器玩之故、永遺一士罪名也、吾心所甚憎、是以如此、蓋自此絕意不復愛奇物。

第二 明主劔鈞聞秀吉兵入韓則恐、會其國西北邊有亂、大將李如松率諸軍屯寧夏、國都兵寡、明主召其大臣、問韓當援否、大臣曰、和窺明久矣、而明之屏在韓、々先被和兵、而明不援、韓且折而入和、々韓爲一、分利於明、合兵戮力以出遼東、則勢如建瓴水于屋矣、願韓民畏和兵、而心不服焉、我遣一將助韓王以招聚之、因其力以捍禦東北、是名以明援韓、而其實以韓援明也、明何患於和哉、明主從之、遣其將祖承訓史儒算援韓、二將皆遼東勇將、數與胡戰有功、甚輕和人、和人前掠明疆者、皆海盜、甲仗敵惡、明人狂見之、以爲豐臣氏兵亦如是也、於是、至嘉山、問韓人曰、平壤和兵無乃走乎、曰否、承訓舉酒祝曰、天使我成大功也、進舍順安營未定、行長偵知、夜遣輕卒劫其營、營亂、乃笑曰、此虜亦易與耳、明日自往、與明軍戰于安定、旗幟偉麗、人馬皆被鬼頭獅面、明馬駭、行長麾兵蹂之、儒算下馬鬪中丸斃、時霖雨、我兵迫明人於淖、擊塵之、承訓挺身而走。

第三 契丹寇澶州、邊書告急一夕五至、中外震駭、寇準不發、飲笑自如、眞宗聞之、召準問計、準曰、陛下欲了此、不過五日、願駕幸澶州、帝難之欲還內、準請毋還而行、乃召群臣議之、王欽若臨江人請幸金陵、陳堯叟閬州人請幸成都、準曰、陛

下神武將臣協和、若大駕親征敵當自遁、奈何棄廟社幸楚蜀遠道、所在人心崩潰、敵乘勢深入、天下可復保耶、帝乃決策幸澶州、駕既發、又有言金陵之謀者、帝意稍移、以問準、準曰、陛下惟可進尺不可退寸、河北諸軍日夜望變與至士氣百倍、若回輦數步、則萬衆瓦解、虜乘其後、金陵亦不可得至也、既至澶州南城、望見契丹軍勢甚盛、衆請駐驂、準固請過河、遠近望見御蓋、諸軍皆踴躍呼萬歲、聲聞數十里、契丹氣奪、來薄城敗去、遂成和議。

第四 燕昭王薨惠王立惠王自爲太子時嘗不快於樂毅田單聞之乃縱反問曰樂毅與燕新王有隙畏誅而不敢歸以伐齊爲名齊人唯恐他將來即墨殘矣燕王已疑得齊反間乃使騎劫代將燕將士由是憤惋不和田單乃令城中人食必祭先祖於庭飛鳥皆翔舞而下燕人恠之單因宣言曰當有神師下教俄有一卒曰臣可以爲師乎單遂師之每有約束必稱神師又宣言曰吾惟懼燕人剽所得齊卒置之前行即墨敗矣燕人如其言城中皆怒堅守唯恐見得單又言吾懼燕人掘吾城外塚墓可爲寒心燕人掘燒之齊人望見皆涕泣欲出戰單知其可用乃身操版鍤與士卒分功妻妾編於行伍之間盡散飲食饗士令甲卒伏使老弱女子乘城約降燕軍益懈田單乃收城中得牛千餘爲絳繒衣畫以五采龍文束兵刃於其角而灌脂束葦於其尾燒其端鑿城數十穴夜縱牛壯士五千人隨其後牛尾熱怒而奔燕軍燕軍大驚視牛皆龍文所觸盡死傷而城中鼓譟從之老弱皆擊銅器爲聲々動天地燕軍大敗走齊人追亡逐北所過城邑皆

叛燕復爲齊七十餘城皆復焉。

第五 簡池劉光祖平生如好施不顧有無來謁者皆周之一日晨坐暖閣夫人方梳沐有舊友來訪公令夫人入內夫人從窓隙中見士人拾所遺釵入懷未穩公將出夫人掣公衣袖止之少頃公乃出客退問其故夫人曰偶遺小釵彼方收拾未穩士貧得之可以少濟不欲遽忍之耳(九點)王沂公狀元及第還青州故郡府帥聞其歸乃命父老倡樂迎於郊公乃易服乘小駟由他門入遽謁守守驚曰聞君求已遣人奉迎門司未報君至何爲抵此王曰不才幸忝科第豈敢煩守父老致迓是重其過也故變姓名詭迎者與門司而上謁守嘆曰君真所謂狀元矣遂卜其遠大。

○算術科

第一 $3\frac{1}{2} + \frac{1\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}}{5} + \frac{4}{5 + \frac{7 + \frac{1}{8}}{6}}$ を最簡にせよ。

第二 某人所有の田地の六分一を賣却し、残る所十七町二反九畝十五歩あり。然らば初め幾何の田地を有せしや。

第三 長百三十間幅二間四尺五寸深四尺五寸の溝を掘るに、一百六十人の工夫毎日十一時間づゝ働き六日にて成功す。今九十六人の工夫毎日八時間づゝ働き長百

十間幅一間四尺五寸深三尺の溝を掘らば、幾日にて成功すべきか。但し地の堅さの度は前は五後は七にして、工夫の力は前四人と後五人と相等し。

第四 一時間に甲は一里乙は一里十二町丙は一里二十四町の割合にて歩行するものとし、其日甲は午後一時乙は午後二時丙は午後三時に同所より歩行を始め同方向に行き、乙が甲に追着きたるとき甲をして後に戻り丙に會せしむ。然るときは丙の甲に遇ふべきは何時なるか。

第五 甲乙丙三個の瓶あり、其容量甲は一升乙は三升丙は五升なり。甲は空虚にして乙は水丙は酒を満たす。今乙瓶内のものを以て甲瓶に満たし、丙瓶内のものを以て乙瓶の空所を補ひ、又甲瓶に入りたるものを以て兩瓶の空所を補ふ。此の如くすると兩度にして、乙瓶中にある酒の量は幾何なるか。

第六 甲乙二人の職工あり、一の仕事を請負ふ。甲一人ならば七日、乙一人ならば八日にて之を成就するものとす。此二人共に働き、他の一人丙の助力を得、三日間にて之を成就せりと云ふ。此工金二十八圓を各自の働に應じて分つときは甲乙丙各幾何を受るか。

第七 年利四分にて三年間の單利 (Simple interest) と重利 (Compound interest) との差一百二圓十四錢四厘となる。問ふ元金如何。

第八 上米を一石に付八圓にて賣れば、三割三分三分一の益を得。此米一石と下米四石の割合に混合したる者十五石を九十一圓二十錢に賣り、以て三割三分三分一の益を得たりと云ふ。下米一石の元價を問ふ。

第九 $\frac{1}{2} \times 2.179 - \frac{1}{4} \times 8.684$ の二乗根 (Square root) を求む。但し小數點以下五位迄。

第十 三俵の米を容るゝ櫃を作るに其幅と深と相等しく、長を幅の二倍にせん。長幅を各幾尺とすべきか。但し尺以下三位迄を要す。又一俵は三斗五升入にして、一升樹は口邊各四寸九分深さ二寸七分なり。

○代 數 科

第一 下の諸名稱の界説を求む。(1)不盡根數 (Surd); (2)不可度數 (Incommensurable Number); (3)實數 (Real Number); (4)虛數 (Imaginary Number)。

第二 x を正數 (Positive Number) とすれば、其値の如何なるも $x + \frac{1}{x}$ は常に2より小ならず。之を證せよ。

第三 x と y 共に正數なるとき比 $(x^2 + y^2) : (x^2 + y^2)$ と比 $(x^2 + y^2) : (x + y)$ とは何れが大なる。

第四 下の諸式を因子(Factor)に分割せよ。

(1) $a(b-c)(b+c-a)^2+b(c-a)(c+a-b)^2+a(a-b)(a+b-c)^2$;
 (2) $(abc+acd+dab+eda)^2-abcad(a+b+c+d)^2$

第五 下の二式の最高公因子を求めよ。

(Highest Common Factor) $48x^3+8x^2+31x+15, 24x^3+22x^2+17x+5$ 。

第六 下の四式の最低公倍数を求めよ。(Lowest Common Multiple) $x^2-3x^2+3x-1, x^4-2x^3+2x-1, x^3-x^2-x+1, x^4-2x^3+2x^2-2x+1$ 。

第七 下の式を最簡に約せよ。

(1) $(\sqrt{18a^2b^3}+\sqrt{50a^2b^3})\div(\sqrt{8ab^3}+\sqrt{2a^2b-8a^2b^2+8ab^3})$;
 (2) $(b+c)^3+(c+a)^3+(a+b)^3-3(b+c)(c+a)(a+b)$ 。

第八 方程式 $x^4+1=2ax(x^2+1)$ の正符號の根を求めよ。

第九 下の方程式を解け。

$$\frac{1}{x+1} + \frac{1}{x-3} + \frac{1}{x+3} + \frac{1}{x-5} = \frac{2}{x+5} + \frac{x-7}{x-92}$$

第十 下の二元方程式を解け。

(1) $2.1x + 0.3y = 2.1x + 0.3y = 39.8$;
 (2) $xy(x+y) = 6, x^3 + y^3 = 9$ 。

第十一 下の不盡根數(Surd)の小數一位までの値を求めよ。

(1) $\sqrt{13} + 2\sqrt{30}$; (2) $(\sqrt[3]{54} + \sqrt[3]{250} + \sqrt[3]{128}) \times (\sqrt[3]{54} + \sqrt[3]{250} - \sqrt[3]{128})$

第十二 英佛魯三國一等軍艦の數を算するに、若し其數の各を二乗(Square)し、之を二つづゝ取りて相加へ、而して此和の各を二乗したる者を又た二つづゝ相加ふれば、一百五十四万二千二百二十四と一百七十七万七千四百二十四と二百六十一万二千との三數を得と云ふ。但軍艦の數は英最も多く、佛之れに次ぎ、魯其次に位す。然らば此三國一等艦の數は幾何なるか。

第十三 AとBの二人あり。Aは甲市を發し乙町を過ぎ丙村に向ふ。Bは乙町より丙村に向ふ。但しAとBとは同時に出發し、同じ道路を行くものとす。Aが乙町を過ぎたるの後四時間にしてBに丙村に會せり。今AとBの路程を合すれば、三十里なり。又Bが甲市より丙村に至るには、九時間を要すと。然らば甲市と乙町の距離は何里なるか。

○幾何學

第一 一點より任意の衆直線を引きたるとき其各線が順次に其隣線となす所の角の總和は四直角に等し之を證せよ。(1) Prove that all the angles made by any number of straight lines drawn from a point, each with the next following in order,

are together equal to four right angles.....3.

第二 三角形の周圍は角點より其對邊の中央點に至る三直線の和より大なり之を證せよ。(2) Prove that the perimeter of a triangle is greater than the sum of the straight lines drawn from the vertices to the middle points of the opposite sides.....4.

第三 正五角形の各邊を引長じて相會せしむれば、其引長線にて作れる諸角の和は二直角に等し之を證せよ。(3) Prove that if the sides of a regular pentagon be produced to meet, the angles formed by these lines are together equal to two right angles.....4.

第四 底邊と兩底角の差及び他の兩邊の差を知て三角形を作ることとを求む。

(4) Construct a triangle having given the base, the difference of the base angles, and the difference of the remaining sides.....4.

○英 學 科

和 文 英 譯

第一 大麥にて麥酒を作り、小麥にて麵包を作る。

第二 水は其形を種々に變じて水蒸氣、雲、霧、雨、雪、霰、雹、氷、露、霜となる。

第三 私は其事に付て外には何も存じませぬ。

第四 彼所に掛て有る角は私が二十年前に獵で打た鹿の角でござります。

第五 室内の遊びは戸外の戯れとは皆有益の者なり。君は何れを最も好むや。

第六 教育の力は強大なるものにして少年の心思行爲をして吾人の欲する所に向はしめ、生涯之を保持せしめ得ると多し

英 文 和 譯

1. He promised to start a cavalry force by that day, but I know he did not, and I do not know that he has yet started it.

2. By far the greater part of the Iberian peninsula is occupied by the kingdom of Spain, which is about five and a half times larger, and at least four times more populous, than its Portuguese neighbour.

3. Were anything wanting to perpetuate the fame of this victory, it would be sufficiently memorable from the scene where it was fought.

4. Harold was no sooner informed of this disaster than he hastened to the northward anxious for the safety of his people and eager to show himself worthy of that crown which had been conferred upon him by his countrymen.

5. A courageous heart may carry a man stoutly through the battle, but it argues

some strong qualities of head to drain unmoved the intoxicating cup of victory.

6. (a) Keep out of brawls, and you will neither be a principal nor a witness.

(b) No man is willing to own him who is out of the good opinion of the world.

7. "I am acting" said Nelson, "not only without the orders of my commander-in-chief but, in some measure, contrary to him. However, I have not only the support of his majesty's ministers both at Turin and Genoa, but consciousness that I am doing what is right and proper for the service of our king and country. Political courage, in an officer abroad, is as highly necessary as military courage." This quality, which is as much rarer than military courage as it is more valuable, and without which the soldier's bravery is often of little avail, Nelson possessed in an eminent degree.

GLOSSARY.

Perpetuate, to make or cause to continue.

Argue, to prove or evince.

Brawl, noisy contention.

Principal, the chief actor in a crime.

Avail, utility; benefit.

練習問題

1. Parse the Parts of Speech in the following sentences printed in italics :—

A short cut is very often a long way round.

More haste less speed.

2. Compare the following Adjectives :—

many. quick. several. useful.

3. Fill the blanks :

Have () seen () pass this () lately.

I () my umbrella at ()

4. Correct the following sentences :—

A watch am an use article for carry in one pocket.

5. Form two short sentences, each containing some of the following words :—

Grass. Sand. Hill. Fishes.

6. Mark the mistakes in Orthography, and spell the words correctly in the blank on the right margin :—

We can said of the dog, that they has been man slave and kompany on and frind from the yearliest period of civilization: bute his origin cannot been ascertained.

7. Compose a short essay "of not less than sixty words" on one of the following subjects:—

Electricity. Railway. Clothing. Country.

陸軍士官學校

(二十七年の入學試験新聞題、左の如し)

○讀 書 科

第一 駕馭天下之群雄、使其盡爲我用、而不我叛者、何以致之乎。與土地金帛不啻乎。授高爵顯位、不惜乎。曰、皆不然也。夫徒恃土地金帛、以與之市。我之土地金帛有盡、而群雄之所欲無極。以有盡而供無極。則我之術有窮時矣。且彼攫我之土地金帛而去、不肯爲我用。我欲驅而使之、彼偃然不應。我指呼甚、

則資我所與、以抗於我。我何以制之。至於爵位、本虛器而已矣。而欲得之者、以我不濫予之也。濫與之則輕矣、人將啗而不顧矣。是亦不可恃也。故徒恃此二者、欲以駕馭天下、天下將反駕馭我。(訓點、地名、双柱、人名、單柱)

第二 余聞早雲嘗召儒士說黃石公三略其首有言曰主將之法務攬英雄之心早雲聞之曰止矣吾既得矣不復使說嗚呼有以夫其以流寓漂泊之人據有八州以開五世之基也夫足利氏隳其綱維權臣內鬩海內戰爭所以然者無他故焉天下英雄各以其心爲心而主將不能收攬之焉早雲蓋早有見於此以爲天下之事可知已故伏一劔之任周流天下以求用武之地一得其地雲蒸龍變莫之或拒夫以兩上杉氏百年故家財賦之富兵馬之雄而早雲以赤手圖之奚異錐鑿山哉乃能戰勝攻取制其死命者果何所恃而然歟亦以其結納英雄得其懽心兵寡而志一地狹而力合如同舟濟江不期而救以此臨敵雖橫行天下無難(同上)

○地 理 科

第一 利根川ノ源末ト其諸潮流枝流及其灌域流域ニ屬スル諸縣ヲ記述スヘシ。
第二 左ニ記載セル港名ヲ、別ニ與ヘタル地圖ニ就テ、正シク其位置ニ記入スベシ。

(い)横濱より東北に向ふ航路に在る者。 秩の濱、宮古、八ノ戸、函館。
(ろ)横濱より西南に向ふ航路に在る者。 下田、清水、半田、四日市、神戸、丸龜、馬關。

入學試験問題

(は)新瀉より北に向ふ航路にある者。酒田、松前。
(に)新瀉より西に向ふ航路に在る者。直江津、伏木、金石、敦賀、宮津。

第三 後印度の諸國及び其首府を記すべし。

第四 本邦に西風若くは西北風の多き原因。

○作文科

第一 友人の支那に遊ぶを送る序。(假名交文)

第二 士氣は國家の元氣たる論。

○歴史科

第一 弘治(後奈良天皇)より(正親町天皇)年間に至るの義戦と稱するもの、三つあり。其戦地、將名、勝敗を記せよ。

第二 海上發見の沿革を略述すべし。

第三 五胡十六割據の原因、及び五湖の區別。十六國始祖の人名、其都城を列記すべし。

○自在畫

第一家 屋

第二 鐘 樓

○用器畫

第一 與へられたる不平行の二直線あり。線間に二ヶの觸接圓形を作るとを求めよ。

第二 與へられたる三直線AB、CD、EFあり。第二線ODの第一線にABに比例する如く、第三線EFに比例して第四直線を決定することを求めよ。

○算術科

第一 甲乙二處あり、甲は東經五分二秒、乙は西經八十八度一分二十八秒に在り。乙處正午なるとき、甲處の時刻は午前或は午後若干時分秒なりや。

但し一時間は經度の十五度に當る。

第二 三個の數あり。其比は1、2、3の如く、之を累乗すれば二百三十三萬四千二百個となる。三數各若干なりや。

○幾何學

第一 直線ACを中經とし、此線上に半圓周を作り、次に此直線上に一點Bを設け、又半圓周上に一點Mを求め、MAMBの二線を作り、此二線とM點に於ける切線EFとにて爲す所のEMA、FMBの二角をして相等しからしめんとす。M點を求むる法如何。

入學試驗問題

二 經Rの圓形Oあり。此圓の一中經を引長し、OB \parallel とし、B點より切線BCを引き、OBを軸として此圓形を旋轉せしむるときは、圓形は球躰を生じ、切線は此球に外接する所の直圓錐躰を生ずべし。但し此圓錐躰の底は、切點Cより中經上に下せる垂線CPにて生ずる圓形なり。此錐躰の躰積を求む。

○代 數 學

第一 彈丸を容る箱あり。六十三個小三十三個の彈丸を以て全く滿せり。若し單に大五個小九個の彈丸を容るゝときは、其箱三分の一を滿すと云ふ。問ふ、此の箱を小の彈丸のみを以て全く滿すには、幾何の彈丸を要するや。

第二 $x^2 + px + q = 0$ なる方程式あり。此式の兩根は a, b なり。然るときは $a + \frac{1}{b} + \frac{1}{a}$ を兩根とする方程式は如何。

○三 角 術

第一 ABC 三角形に於て、 $\sin^2 A = \sin^2 B + \sin^2 C$ の如き關係式を得るときは、Aは直角なりと云ふ。此證如何。

第二 正北に向て進向する汽船あり。某時船中より二個の燈臺を見るに、正西の方位一直線上にあり。夫より航すると一時間にして、又該兩臺を見るに、正南

より西へ一は四十五度、一は三十度の方位に在りたりと云ふ。該兩臺の距離をa里とすれば、船の速力如何。

○物 理 科

第一 大氣中に電氣あるを證し、且つ落雷の理を説明せよ。

第二 比熱 0.0355 にして、重量四キログラムの白金一斤を某温度に熱し、之を攝氏 0 度の水七・一キログラムの中に投ずれば、双方共に攝氏 30 度となれり。某温度とは若干度なるや。

○化 學 科

第一 酸化水素の性質を問ふ。尙酸化水素は、化學的分析上、諸金屬を分ちて三類となすの効ありと云ふ。其用法如何。

第二 諸金屬の酸化物は皆な水を以て摸範と爲すといふ。其說如何。

○生 理 科

消食器の名稱及胃の位置構造を記せ。

○衛 生 科

齒牙の養生學說を記せ。

○動 物 科

第一 鳥類の呼吸器を説明せよ。
第二 昆蟲類の消食器を説明せよ。

○植 物 科

第一 松柏科の特徴を説明し、且つ二三の屬種を挙げよ。
第二 莖の作用を説明せよ。

○外 國 語 學

佛 第一題(歐文和譯)

La propreté est une condition de la santé. On est souvent malade, parce que la Maison n'est pas bien tenue, parce que l'air est vicié par les immondices, ou parce que l'on n'a pas sion de se baigner chaque jour les mains et le visage dans un vase rempli d'eau fraîche. Les maladies, les fièvres, les épidémies sont surtout à craindre pour ceux qui négligent les règles élémentaires de l'hygiène.

獨 第一題

Lieber Freund!

Mein Fuß ist noch immer nicht geheilt, und ich sitze nun schon 14 Tage wie ein Gefangener im Zimmer. Die Zeit wird mir erschrecklich lang. Ich möchte Dich daher

freundlichst bitten, mich doch recht bald auf einige Stunden zu besuchen. Dann könnte ich Dir auch gleich das prachtvolle Märchenbuch zeigen, welches mir mein Lehrer geschenkt hat. Wenn es Dir irgend möglich ist, so erfülle den Wunsch.

Deines

Kranken Freundes.

N. N.

英 第一題

As the king could speak but little English, and his chief minister, Sir Robert Walpole, understood neither German nor French, the intercourse between them was carried on in Latin.

In all his notions and ways the king was too much of a German to be popular in England.

佛 獨 英 第二題 (和文歐譯)

山口縣にては、去月三十日、近來稀なる降雪にて、同夜太田村より阿武郡明木に赴きたる郵便脚夫は、歸途積雪に途を塞がれ、終に凍死せりと云ふ。

陸軍幼年學校

(廿七年度の新聞題に左の如し。)

○讀書科

第一 我朝以武立國。神武以還、經數十世、雖時有變故、靖難戡亂、頃刻而辨。天下不搖者、非以兵權在上、綱維可擊故哉。然皆係內變矣。其有外叛、始見於景行云。蓋雖神武能肇造中土、東西諸道、號令未周。自崇神、已漸命將四出。至此治熊襲、則親將伐之。何者其事大也。其事大、則其用兵亦大。大兵之權、不可委之臣下也。及賊再燃、難於再動兵、則遣皇子代往。其慎也如此。故至巡察東國、雖初遣大臣、至經略之任、亦任之皇子。其意可以見已。(土官生徒の例に同じ)

○地理科

第二 幸村因獻策曰臣聞德川氏檄天下兵以來攻我我坐俟之無他奇道度關東北國之兵強半未至宜以此時出大旆于天王寺口勝永與臣爲先鋒赴于山崎使盛親基次出大和路扼宇治橋攻拔伏見縱火京師以大關天下之衢路則西國諸侯必有來屬者是一奇也基次曰計雖善矣非萬全者本城壯固無匹雖受天下兵可支三五年如此則敵必有內變諸侯被先世恩者必款於我何必遠出衆然之(同上)

第一 北海道の大山脉を畫し、著名の河、湖、港及灣の名稱を記入すべし。

第二 三府五港所在の國名、及其位置を記述せよ。

第三 朝鮮の大山脉は南北に亘る。其山西(西水經)は沃壤名邑多く、山東(東水經)は之に反す。其故如何。

第四 支那本部の位置、境界。

○作文科

第一 某武學校を卒業せる後郷里の師に與へて恩を謝する書(通俗文)を二篇の

第二 小松重盛父を諫むる圖の記(假名交文)

○歴史科

第一 源頼朝源義仲の平氏と戦ひし最初の大戦の地名、及勝敗を記すべし。

第二 應仁亂の原因四あり。之れを列舉記述すべし。

第三 春秋十二列國の中、四強國と、五霸の事跡を列舉略述すべし。

○自在畫

面 籠手 寺門に沿ふて休亭あり(模寫)

○用器畫

第一 與へられたる圓周を六個に等分する法。

第二 ABなる與へられたる直線を對角線として、正方形を畫成することを求む。

○算術科

第一 分數を以て一數を除するは、其分數の分母子を顛倒するものを以て其一數に乘するに等し。之を證明すべし。

第二 瀛車あり、其輪周十八尺四分三にして、毎秒三回すと云ふ。今此車百五十哩の路を走るに、若干時間を要すべきや。但し一哩は五千二百八十尺なり。

○幾何學

第一 四邊形の相對する二邊相等しく、且つ相平行するものは、平行邊形なりと云ふ。此證如何。

第二 圓形外に於て交はる二個の割線にて成る角は、其二邊の間に函める二弧の半差を以て測度となす。此證如何。

○代數學

第一 $\sqrt[m]{(a^{3m}+b^{3m}-2)}$ を $\sqrt[m]{(a^{2-3m}b^{3m-1})}$ にて除すべし。

第二 東西兩地の距離 a 里なるあり。今甲車は東地を、乙車は西地を、同時に相向て出發し、甲車は一時間の速力 m 里にして、乙車は一時間の速力 n 里なりと云ふ。問ふ、出發後何時を経て兩車相會するや。

第三 a^6+b^6 を三因數に分解すべし。

○物理學

第一 光線、三稜玻璃及び透光鏡（レンズともいふ）を通過するとき、如何に屈折するや。

第二 凍結混和物（冷劑或は寒劑ともいふ）とは、如何なるものなるや。又其寒を起すの理を説明せよ。

○化學

第一 硝酸は如何なる元素の化合によりて成るや。並に、酸、アルカリ、及鹽の區別を説明せよ。

第二 鹽素の製法及び性質を説明せよ。

○外國語學

佛 第一題（歐文和譯）

Un jour, Madame la duchesse de Bourgogne, voyant à un souper un officier qui était fort laid, plaisante beaucoup et très-haut sur sa laideur. (Je le trouve, Madame, dit Louis XIV encore plus haut, un des plus beaux hommes de mon royaume, car c'est un des plus braves).

獨 第一題 (詞)

Diesen Morgen sind mehrere Züge nach Neuburg vorbeigefahren; der Schnellzug hat nicht angehalten, aber der postzug und der Güterzug, die vor drittehalb und vor anderthalb Stunden vorbeigefahren sind, haben einen Augenblick Halt gemacht, um Kohlen und Wasser einzunehmen.

英 第一題 (句)

Alexander saw a soldier standing at the door of a house; and, going up to him, the Emperor said, "My friend, can you tell which of these two roads I must take to get to Kalouga?" The soldier, who was in full military dress, was smoking a pipe with an air of dignity almost ridiculous. Astonished that so plain-looking a traveller should dare speak to him, the smoker answered shortly, "To the right."

佛 獨 英 第二題 (和文歐譯)

正成既に死し、義貞も敗れて退き、尊氏は京師に入り、正成の首を河内に送りければ、一家聚りて大に歎きけり。

附録 各書籍館規則

東京圖書館

本館は内外古今の圖書記録を蒐集保存し、及衆庶の閲覽参考の用に供する所とす。其規則を設くること左の如し。
本館は毎日左の時限を以て開閉す。

一	月	午前	第九時開	午後	第四時閉
二	月	全	第九時開	全	第四時閉
三	月	全	第八時三十分開	全	第四時三十分閉
四	月	全	第七時三十分開	全	第四時三十分閉
五	月	全	第八時開	全	第五時閉
六	月	全	第七時開	全	第五時三十分閉
七	月	全	第七時開	全	第五時三十分閉
八	月	全	第七時三十分開	全	第五時閉
九	月	全	第七時三十分開	全	第四時三十分閉
十	月	全	第八時三十分開	全	第四時三十分閉
十一	月	全	第九時開	全	第四時閉
十二	月	全	第九時開	全	第四時閉

附録 各書籍館規則

定期閉館の時日左の如し。

歳首	自一月三日	館内掃除	毎月一日
紀元節	十二月一日	曝書期	凡十月間
天長節	十一月一日	歳末	自十二月廿五日 至全三十一日

但此外臨時の閉館は其時々之を揭示すへし

満十五歳以上の者は何人にも本館の圖書を借覽することを得。

凡そ本館の圖書を借覽せんとする者は左の求覽券の内一種を購求して來館すべし。

特別求覽券

一回分 一枚 金五錢

十回分 一枚 金三十錢

尋常求覽券

一回分 一枚 金二錢

十回分 一枚 金十二錢

特別券を有する者を特別參觀人とし、尋常券を有する者を尋常參觀人とする。但

特別參觀人は閱覽所内の別室に於て借覽せしむへし。

求覽券は閱覽所入口に於て吏員に渡し、更に閱覽證を受けて其住所姓名及求需の書名函架番號冊數を記し、貸渡場に出して書冊を借受べし。

貸付圖書の員數は、特別參觀人は一時に和裝書は七種三十冊、洋裝書は七種七冊を限り、尋常參觀人は和裝書は三種十冊、洋裝書は三種三冊を限りとする。又同時

に和裝書洋裝書を併せ借るときは、共に其合數の半を過ぐるを得ず。但辭書は此限にあらす。

暫時たりとも閱覽所外へ出る者は一應其借受したる圖書を掛員に返却すべし。

圖書借受中誤て之を失亡し、或は點汚毀損するときは、同一の圖書若くは相當の代價を以て償還すべし。該件未了の間は更に他の圖書を借受するを得ず。但其汚損の状況により本文を斟酌することあるべし。

借覽圖書を故意に點汚若くは毀損したる者は、其情狀により一ヶ月乃至三年間登館を禁ず。但汚損の甚きものは尙前條の本文を適用す。

閱覽室に於ては一切音讀談話喫煙を禁ず。

帶醉者と認むるときは登館を許さず。

東京府下に住し丁年以上にして土地若くは家屋を有するもの、本館所藏の圖書帶出特許票を得んとするときは、左の書式に依り願書及證書を差出すべし。其土地家屋を有せざるもの、及丁年未滿^{滿十五}年以上のものは、本人願書及前段の資格を有する保證人の證書を差出すべし。

特許票付願書式 用紙半紙

私儀貴館の圖書を帶出借覽致度候に付特許票御付與相成度別紙證書相添此段相願候也

附錄 各書籍館規則

年月日

住所

族籍業務

姓

年 名印

東京圖書館長 某 殿

證書式 用紙半紙證券印紙(壹錢)貼用

姓

年 名

右は貴館の圖書帶出借覽特許相成候上は貴館の御規則確守可致は勿論自然借受したる圖書を失亡若くは汚損したる(保證人なれば「たる」以下を「本人より辨償する能はざる」に改む)ときは貴館の命に依り(保證人なれば「拙者より」同一の圖書若くは其代價を辨償可致候也

年月日

住所

族籍業務

姓

年 名印

東京圖書館長 某 殿

右某は丁年以上にして當區(町村)内に住し土地家屋(又は土地)(家屋)を有するものに相違無之候也

區役所(又は戸長役場)印

年月日

特許票付與の許可を得たるときは、特許閱覽料金五圓を納付して特許票を領收すべし。滿一年の後尙特許を繼續せんとするものは更に前段の手續を経て特許票を領收すべし。但始て特許票を領收したるときは印鑑壹枚を差出すべし。

貸付圖書員數は、和裝の書は五冊、洋裝の書は二冊を限とす。和裝洋裝の書を併せ借るときは、前者は二冊、後者は一冊に過ぐるを得ず。圖書卷軸類の員數は臨時之を定む。但新に備付たる圖書は一ヶ月乃至三ヶ月を経たる後、定時刊行書は裝釘の上に非れば貸付せず。又逐次刊行書は一ヶ月乃至三ヶ月を経たる後と雖も裝釘の都合に依り臨時貸付せざることあるべし。

圖書出納の日時は本館規則に準據すべし。圖書を借受せんとするときは特許票を出し、定式の用紙に姓名及書名冊數等を詳記して之を差出し、圖書を受取りたるときは更に證書用紙に姓名及書名冊數を記入調印すべし。

圖書借受の期限は其書の種類により十日乃至三十日とす。尙引續借受せんとする者は一旦返納して更に借受の手續を爲すべし。但他に同書の借受を請ふ者ある時は續借するを得ず。

特許を得て借受したる圖書と雖も本館に於て要用ある時は臨時返納せしむることあるべし。特許票を有するものと雖も、圖書帶出中は無料にて本館閱覽室に來り圖書を借覽するを得ず。但目錄に就て圖書を檢索する爲め閱覽室に入るは此限に非ず。

特許票を有するもの他の地方へ轉ずるか其他の事故に依り爾後本館の圖書借受を要せざるときは速に其旨を届出づべし。

特許票を有するもの本則の始めに掲げたる資格を失ひたるときは、新に保證人を設け、保證人其資格を失ひたるときは、本人に於て更に保證人を設け、定式の證書を差出すべし。

特許票を有するもの又は其保證人住所を轉じたるときは其前後の住所を記し速に届出づべし。

特許票を遺失したるものは速に届出更に其付與を請ふべし。

圖書返納を怠り、及總ての届出手續を怠りたるときは爾後其特許票を無効とし、其事情に依り再び之を付與せざるべし。

大日本教育會書籍館

本館は教育及諸般の學術に關する通俗の圖書雜誌報告書等を蒐集し、廣く公衆の閱覽に供するにあり。

本館は毎日左の時限を以て開閉す。

開館時限 閉館時限

一月	午前第九時	午後第四時三十分
二月	午前第九時	午後第四時三十分
三月	午前第八時三十分	午後第五時
四月	午前第八時三十分	午後第五時
五月	午前第八時	午後第五時三十分
六月	午前第八時	午後第五時三十分
七月	午前第八時	午後第五時三十分
八月	午前第八時	午後第五時
九月	午前第八時	午後第五時
十月	午前第八時三十分	午後第四時三十分
十一月	午前第九時	午後第四時三十分
十二月	午前第九時	午後第四時三十分

本館定期の閉鎖は左の如し。

歳首 自一月一日至一月五日
曝書期 毎年八九月の際凡二週間
歳末 自十二月卅日至十二月卅一日
天長節 十一月三日

但此外臨時の閉鎖は其時々揭示すべし。

本館の圖書を閱覽せんとするものは、閱覽券を購求すべし。其代價左の如し。

通常閱覽券	一回 金貳錢	十回 金拾六錢
特別閱覽券	一回 金參錢	十回 金貳拾四錢

附錄 各書籍館規則

但大日本教育會々員は通常閱覽料を仕拂ふときは特別閱覽者の取扱ひをなすへし。入場の際は必ず會員章を携帯すへし。

閱覽券は掛員に渡し、閱覽證を受け、之に求需の書名、冊數、部門、函號、番號及住所姓名を明記し、貸渡所に出し書冊を借受くへし。

但貸付圖書の員數は同時に三種以内とし和装は九冊洋装は三冊を限り、特別は六種以内とし、和装は十八冊、洋装は六冊を限り、和洋併借の時は和装三冊を以て洋装一冊に換ふ。

閱覽人は一日一回外出するを得。

但外出者は借覽の圖書を返戻し外出證を受けて必ず之を携帯すへし。

借覽中の圖書を紛失或は汚損する等のことあるときは本館指定する所の現品若くは償金を出すへきものとす。又其行爲の次第によりては再ひ來館を謝絶すべし。

閱覽室内に於ては一切音讀、談話、喫烟を禁ず。

閱覽室内に於て故らに喧騒の舉動をなし靜肅を害するものあるときは、再三注意を加へ、猶用ひざるときは退館せしむべし。

帶醉者其他入館せしむ可らずと認むる者は登館を許さず。

閱覽人は閱覽室揭示を遵守すべし。

本館の十回券有効期限は滿三ヶ月間とす。

但期限中本館の都合に依り一ヶ月以上閉館したる時は其日數を算し期限を延長すへし。

本館は又學術講習者の便を圖り併て讀書の趣味を一般社會に普及せしむる爲め、特に備へある書目に記載の圖書に限り之を館外に貸出すべし。

圖書を借受けんとする者は、大日本教育會々員又は東京市内に現住する者たることを要す。

但東京市外へは當分の内貸出圖書の種類を制限することあるべし。

圖書を借受けんとする者は其の圖書の價額に等しき金額を保證金として前納すべし。

保證金は借受圖書を返戻したるとき直に還附すべし。

圖書を借受けたる者は左の割合に従ひ借覽料を拂ふべし。

壹冊に付	價額	金額	拾錢迄	一日	金五厘
全	全	金五拾錢迄	全	全	金七厘
全	全	金壹圓迄	全	全	金壹錢
全	全	金壹圓五拾錢迄	全	全	金壹錢五厘
全	全	金貳圓迄	全	全	金貳錢

價額金貳圓以上の圖書借覽料は金五拾錢迄を加ふる毎に金五厘を増す。前項に規定の借覽料は大日本教育會々員に限り半減とす。

大日本教育會々員は圖書の借受並に返戻とも郵便若しくは通運便に托することを得。但運賃其他の雜費は借受人の負擔たるべし。

借受圖書の員數は同時に二種以内とす。

圖書を借受けんとする者は書名、冊數、部門、函號、番號、價額及び住所、業務、姓名を明記して本館に差出すべし。

圖書借受の期限は東京市内は借受の日より二週日、東京市外は發送の日より三十日間とす。

期限を過ぎ返戻せざるときは其期日後の日數間は二倍の借覽料を申受くべし。又本館の催促を受け尙ほ返戻せざるときは紛失したるものと見做し保證金を返戻せざるべし。

借受の圖書に落書し若しくは書中の圖畫等を引裂く等本館に損害を及ぼしたるときは、本館の指定する所に從て現品又は代金を以て辨償するを要す。其辨償了らざる間は保證金を返戻せず。

東京遊學案内終

28

青年の爲め青年の手に成る青年の文學

青年文學

「青年文學」將に新に文壇に生れぬ。其目的は如何に其使命は如何に其使命は青年の理想を實現するにあり。此故に「青年文學」に於ては、青年諸君が其理想を表現し、其希望を述べ、其不平を吐き、其熱情を燃やし、更に又自然の美、人情の妙に動かされて、其目的を達成する。其目的は、青年の理想を實現するにあり。此故に「青年文學」に於ては、青年諸君が其理想を表現し、其希望を述べ、其不平を吐き、其熱情を燃やし、更に又自然の美、人情の妙に動かされて、其目的を達成する。其目的は、青年の理想を實現するにあり。此故に「青年文學」に於ては、青年諸君が其理想を表現し、其希望を述べ、其不平を吐き、其熱情を燃やし、更に又自然の美、人情の妙に動かされて、其目的を達成する。

發行所

誌雜學文の年青る成に手の年青め爲の年青

青 年 文

『青年文』將に新に文壇に生れ出でんとす。其目的は如何、其使命は如何、其目的は青年の機關雜誌たるにあり、其使命は青年の理想と智識とを高尙にするにあり。此故に『青年文』は一方に於ては、青年諸君が其意見を發表し、其希望を述べ、其不平を訴ふるの論文を掲げ、更に又自然の美に感じ、人情の妙に動かされて迸り出づる詩歌小説を載せて其目的を達し、一方に於ては、雄大の議論、斬新の思想、純潔の美文を紹介して其使命を果たさんことを期す。一言之を掩へば、『青年文』は青年の爲め、青年の手になる、青年の文學雜誌なり。青年は人生の花なりとせば、『青年文』は其花の花たるものなり。謹で青年諸君の愛顧を請ふ。

發行所

東京府下北豊島郡上駒込村十九番地

少

年

園

『青年文』の第壹號は來る二月上旬を以て發刊す。
『青年文』は、論說、漢文、國文、小説、和歌、漢詩、新體詩、俳句、批評等總て文學に屬するものは悉くこれを收む。
『青年文』は歡びて青年諸君の寄稿を待つ。
『青年文』は毎月一回の發刊にして、紙數は大版凡そ四十八頁とす。
『青年文』の代價は一冊金七錢、六冊金四十錢、十二冊金七十錢にして、郵税は一冊につき金壹錢なり。

價額金貳圓以上の圖書借覽料は金五拾錢迄を加ふる毎に金五厘を増す。前項に規定の借覽料は大日本教育會々員に限り半減とす。

大日本教育會々員は圖書の借受並に返戻とも郵便若しくは通運便に托することを得。但運賃其他の雜費は借受人の負擔たるべし。

借受圖書の員數は同時に二種以内とす。

圖書を借受けんとする者は書名、冊數、部門、函號、番號、價額及び住所、業務、姓名を明記して本館に差出すべし。

圖書借受の期限は東京市内は借受の日より二週日、東京市外は發送の日より三十日間とす。

期限を過ぎ返戻せざるときは其期日後の日數間は二倍の借覽料を申受くべし。又本館の催促を受け尙ほ返戻せざるときは紛失したるものと見做し保證金を返戻せざるべし。

借受の圖書に落書し若しくは書中の圖書等を引裂く等本館に損害を及ぼしたるときは、本館の指定する所に從て現品又は代金を以て辨償するを要す。其辨償了らざる間は保證金を返戻せず。

東京遊學案 内終



今や我が軍既に盛京省の大半を占領して、其咽喉を扼し、將に進みて北京を衝き、其背を拊ちて、城下の盟を結び、民勇武の一途に傾き、盡く奮てこれに従はんと欲するの餘、軍機軍術兵法兵器の名稱運用等に關することを知り、且は萬一に備へ、且は戦争の報告を解する助けとなさんとするも亦宜なるかな。然るに世の新聞雑誌競ふて戦争の軍術兵器の解説を學術上より明らかにし、之が本源たるものなきは一大憾事といふべし。故に本誌は主として世の新聞雑誌に見る能はざる其缺典を補ひ、將に歐米の新案にかゝる兵器兵術等を學術上より説明して、普く一新識を今の國民に頒たんとす。苟も軍國の事に心を注ぐ新我が青年諸君登これを一讀せしめて兵を談ずべけんや。

第四百九拾九號目次。(二月三日發兌)

●威海衛砲臺及旅順口。(卷首の挿畫)
●少年園。譯で明治廿八年の新政を賀す。學園。海防(挿畫)。大砲(挿畫)。
●文園。A.B.C.組合。ユイゴ一原作。抱一庵主人譯。○黃海の戰(文科大學教授、岡田國太郎)。
●好武夫。(三宅雄次郎)。
●兵士の養性。(陸軍一等軍醫、岡田國太郎)。
●叢園。山縣大將(肖像挿入)。
●旅順口(威海衛)水雷艇及び掃海艇二法。
●帝國文學。○成功の秘訣。○新著略評。○彙報。○芳園。○鎮守(七首)。
●敵愾餘音。快報。○香村に於ける豫備兵出發の模様。○牡丹臺。○兵士の夢。

發行所

東京府下北豐島郡上駒込村十九番地

少年園

少年園は發刊以來既に七星霜を経、百五拾號に達するに至れり。其間載する所の材料は、數千百種之多きに及び、學說、文藝、傳記、概ね網羅して其中に在り。世の少年が讀みて益すべく、知りて悦ぶべきの事、一として備はらざるなし。即ち此合巻を控へて、其目次を檢するときは、學藝界の事に於て殆どあらざるものなく、明かにすべからざるものなし。蓋し少年園は、新古學藝の府にして、少年社會の指南車となり、藥石となり、又遊戯の友たるものなれば、他の新聞雜誌の如く、一讀の後、復た用をなさざるものにあらず、百科全書の如く、社會事彙の如く、常に座右に備へて益を受くべき良書なり。

少年園合本

第貳卷	第四卷	第五卷	第六卷	第七卷	第八卷	第九卷	第十卷	第十壹卷	第十貳卷
自第貳拾四號	自第拾九號	自第拾六號	自第拾三號	自第拾號	自第七號	自第四號	自第一號	自第貳拾四號	自第拾九號
定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊	定價一冊
郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料	郵税無料

發行所 少年園

毎月一回(十五日)
發兌)一冊金十錢
六冊(半年分)金
五十五錢(十二冊)
郵税金一錢前金一圓
あらざれば發送せ

少年文庫

す。郵券代用は五
厘切手にて一冊一
錢増但し郵便爲替
局のなき地に限
る。爲替拂渡局
込郵便局

一月十五日發兌第拾參卷第六號目次

少年文庫	山水畫家の一	枯蕩子	少年の思想	八尋新生	元旦雜感	月
透骨恨	春宵	好商の術策に陥るな	論	幽竹吉鹿	明治廿八年日誌序	道
新洋島沖	長眠	履歴は	少年文庫寄稿	花南野城	卒業生を送る序	泉
村寺の夕	柳坡	程よき論	八尋新生	子生甫子	錦生	小
暮秋の夕	蕭園主人	六十一詩	八尋新生	諸野光太郎	余が戀し草	福
樂園雜咏	蕭園主人	紫明吟社披露	八尋新生	連野光太郎	名な戀し草	孤
眞萬物語	蕭園主人	買積返玉説文	八尋新生	丘太郎	豹が戀し草	田
小夜千鳥	柴舟	土志田清兵衛翁傳	八尋新生	子	古	福
なくて七癖	柴舟	今七十五首	八尋新生	子	錦	孤
英學	柴舟	明治廿八年の大小を發句にも	八尋新生	子	卒	田
Generous Enemies	柴舟	秋の新體詩	八尋新生	子	業	福
獅子狩り	柴舟	須磨の浦	八尋新生	子	生	孤
廢煙論	柴舟	戰地にある親友を思ひ出して	八尋新生	子	送	田
フットボール	柴舟	忠義の骸	八尋新生	子	る	福
新年の賀状	柴舟	風流中尉	八尋新生	子	序	泉
交友會雜誌	柴舟	孤笛	八尋新生	子	月	道
青年文	柴舟	松田文狂	八尋新生	子	誌	泉
發行所	柴舟	孤笛	八尋新生	子	序	泉
東京府下北豐島郡上駒込村十九番地	柴舟	孤笛	八尋新生	子	月	道

定價金貳
拾錢、郵
税金四錢。

少年文庫

爲替拂渡
局、駒込
郵便局。

論
海國思想の發達
○事○の○美○風○を○打○破○す○よ○論
○年○の○奢○心○を○大○外○物○の○地○方○少
○そ○の○自○負○を○大○外○物○の○地○方○少
○ハ○小○自○負○を○大○外○物○の○地○方○少
○童○論○の○弊○を○大○外○物○の○地○方○少
○弄○論○の○弊○を○大○外○物○の○地○方○少
○今○の○弊○を○大○外○物○の○地○方○少

感慨の文
○人○の○樂○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人
○感○の○懷○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人
○中○の○春○を○偶○感○の○懷○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人
○東○の○雨○を○偶○感○の○懷○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人
○梅○の○雨○を○偶○感○の○懷○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人
○感○の○懷○を○偶○感○の○懷○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人
○想○の○懷○を○偶○感○の○懷○を○浮○世○の○春○雨○に○友○人

發行所

東京府下北豐島郡上駒込村十九番地

少年文庫

五

四季折りくくの文	新體詩	記行文	小説
○春の山遊び	○須磨のうぐいす	○横濱遊	○幼馴染
○五月の雨	○うぐいす	○遊江島	○旅路の露
○晩春の眺	○山家四季	○宮津旅行	○於春
○雨吹め	○四季の月	○鎌倉旅行	○江戸の氣
○喜不		○御記	
○哀悼の文		○須	
○追憶			
○漢文			
○詩			
○短歌			
○今様			
○旋頭歌			

定價金 參拾錢

少年文苑

全國無料郵

文學の隆興實に今日の如きはなし、而して文章の荒廢又今日の如きはなし、此際少年の文章を學ばんとするものは、實に進路に迷感せざるを得ざるなり。本園夙に之を愛ひ、世の少年をして、實に進路に迷感せざるを得ざるもの編みせり。書中載する所は、今人の名文中、實文章兩ながら、一書なるものみならず、或は紀事あり、或は論說あり、或は一人の小傳あり、なるものみならず、或は紀事あり、或は論說あり、或は一人の小傳あり、の文ならざるはなし。殊に每親切の批評を加へ、或は一人の小傳あり、れば、或は其人の文章を總評し、又其文を更に載する所、或は一人の小傳あり、志ある少年諸君、其才識を長じ、又邪徑に迷ふことを免かるゝを得ん。

- 波寧流女史ナ吊フ... 柴賀重 柴賀重 柴賀重
 新日本青年... 志賀重 志賀重 志賀重
 東洋ノ新大國... 志賀重 志賀重 志賀重
 少年ノ心ニ於ケル宇宙ノ變遷... 志賀重 志賀重 志賀重
 井ノ原遊記... 志賀重 志賀重 志賀重
 藤原王ノ出奔... 志賀重 志賀重 志賀重
 路村之助ノ話... 志賀重 志賀重 志賀重
 芝林登詳ニ事務ヲ辦理セシム... 志賀重 志賀重 志賀重
 伊豆の海... 志賀重 志賀重 志賀重
 笠原仙果に送る文... 志賀重 志賀重 志賀重

發行所

東京府下北豊島郡上駒込村十九番地 少年文苑

定價金 參拾錢

本朝立志談

全國無料郵

世に立志談と名づくる書少なからずと雖も、何れも西洋の事蹟を擧ぐるに過ぎずして、本邦の事に係るものなし。是れ本邦には立志談と名づくべき事蹟なきに因るかといふに、決して然るにあらず、世人の之を知らざるに在るのみ。此書は本朝近世の文學、工業、技藝、殖産等に就て、或は一家を起し、或は一業を創め、勉強忍耐よくその素志を貫ぬきし人々の逸事を集めたるものにして、少年子弟一たび之を閲讀するときは、愉快の念蓬々として心頭に生じ、感慨の情混々として腦裡より湧出し、遂に思はず奮然案を打て蹶起するに至るべし。初編掲ぐる所の人名は左の如し。

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------------|
| 河村瑞賢 | 濱田彌兵衛 | 山田長政 | 新井白石 |
| 芭蕉庵桃青 | 近松門左衛門 | 神澤其綱 | 高橋東岡 |
| 伊能忠敬 | 曲亭馬琴 | 綠亭川柳 | 青木昆陽 |
| 平賀源内 | 中島藤右衛門 | 大久保主水 | 玉川庄右衛門附清右衛門 |
| 田中丘隅 | 那珂宗助 | 吉田雨岡 | 岩橋甚兵衛 |
| 北村雪山 | 伊藤若冲 | 森祖仙 | 司馬江漢 |
| 永田善吉 | | | |

發行所

東京府下北豊島郡上駒込村十九番地 少年文苑

定價金貳拾五錢郵税金四錢

新撰就業案内

爲替拂渡 駒込郵便局

生活の準備、才能の修養、業務の精撰、民業と國務、社會の組織、國家の編制、議會と政府、宮廷と官廳、外交と内政、衛生と教育、警察と裁判、海軍と陸軍、國庫の收支、經濟の機關、需要と供給、商業と運輸、工業と農業、資金と勞銀の十八章を上篇就業の指針となし、中篇は文官、外交官、判檢事、書記辯護士、醫師、海員、教員等の試験規則を網羅し、下篇には各試験問題を掲載す。皆地方より都下に遊學し、若くは遊學せんと欲する者の爲にするに非ざるは無し。既に都下に在る者、此書を讀まば即ち活路を求むるのたつきを得べく、地方に在りて爲に策を算はんとする者は、其將來の方向を確定するを得べし。要するに少年子弟をして、其身を誤たしめざる者は此書の賜也（東京日々新聞）上篇才能の修養と業務精選の法を論じ、延て農商工藝より文武官吏に至る迄、萬般業務の現時の趨勢を極めて叮嚀懇篤に説明し、中篇下篇に職務檢定規則及び檢定試験問題を附加せり。曩に發行せる遊學案内と相符て少壯有爲の士が、世途必需の羅針盤たらん。（自由新聞）

部下に來學する少年の爲に遊學案内を發行し居たる少年團は、今度亦卒業生諸子の爲に前途の指導者たらんとして、新撰就業案内を著したり。青年諸子が一讀の價値は確かにあるべし。（報知新聞）上篇には簡易明快なる文字を以て就業上の指針を説き、中篇には職務檢定規則を記し、下篇には檢定試験問題を掲げ、注意頗る懇切なる案内者なり。（國會）

曩に都門遊學者の爲めに遊學案内を發行したる少年團、又々卒業後の青年の爲めに此版あり。前途の處世を畫せんを欲するものに、こゝなき便書といふべし。（二六新報）

少年團が年々發行する遊學案内は、都門に入り來る少年輩に便益を與へしこと少からざるが、本書は之に對し、主として卒業生に向て前途の指導をなす者にて、乃ち社會の海に乗り出し安全なる立脚地を求むるに方り、懇切なる助言者と稱すべし。故に亦當初の目的を確定するに、遊學案内と前後相映して少年界を益するものなり。上篇就業上の指針、中篇職務檢定規則、下篇檢定試験問題とす。數語詳説具さに社會の現象を示せり。吾人は少年界に代て編者に一言之を謝す。毎日新聞）

青年教育の別働隊として一方に旗幟を翻す少年團は、其精緻周到の調査と、簡潔明瞭の文筆を以て、新撰就業案内を刊す。記する所の事項二百有三十、讀み來れば、優に國家社會の全体を識るべく、而も懇切に其事業の性質組織を解説したるは、決して網利的書肆の爲し能はざる所なり。（山形自由新聞）

發行所

東京府下北豊島郡上駒込村十九番地

少年園

定價金貳拾五錢

明治二十七年七月十四日印刷

明治二十七年七月十七日發行

明治二十八年一月廿二日訂正再版印刷

編輯者

黒川俊隆

東京市淺草區橋場町三十二番地

發行者

大橋又四郎

東京市本郷區上富士前町二十番地

印刷者

根岸高光

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目二十三番地

印刷所

株式會社 秀英舎第一工場

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

發行所

少年園

東京府下北豊島郡上駒込村十九番地

版權所有

定價金貳拾五錢郵税金四錢

新撰就業案内

爲替拂渡 駒込郵便局

生活の準備、才能の修養、業務の精撰、民衆と國務、社會の組織、國家の編制、議會と政府、宮廷と官廳、外交と内政、衛生と教育、警察と裁判、海軍と陸軍、國庫の收支、經濟の機關、需要と供給、商業と運輸、工業と農業、資金と勞銀の十八章を本篇就業の指針となし、中篇は文官、外交官、列檢事、書記、辯護士、醫師、海員、教員等の試験規則を網羅し、下篇には各試験問題を掲載す。皆地方より都下に遊學し、若くは遊學せんと欲する者の爲にするに非ざるは無し。既に都下に在る者、此書を讀まば即ち活路を求むるのたつきを得べく、地方に在りて爲に策をばんとする者は、其將來の方向を確定するを得べし。要するに少年子弟をして、其身を誤たしめざる者は此書の賜也（東京日々新聞）

上篇才能の修養と業務精選の法を論じ、延て農商工藝より文武官吏に至る迄、萬般業務の現時の狀勢を極めて叮嚀懇篤に説明し、中篇下篇に職務檢定規則及び檢定試験問題を附加せり。曩に發行せる遊學案内と相俟て少壯有爲の士が世途必帯の羅針盤たらん。（自由新聞）

都下に來學する少年の爲に遊學案内を發行し居たる少年團は、今度亦卒業生諸子の爲に前途の指導者たらんとして、新撰就業案内を著したり。青年諸子が一讀の價値は確かにあるべし。（報知新聞）

上篇には簡易明快なる文字を以て就業上の指針を説き、中篇には職務檢定規則を記し、下篇には檢定試験問題を掲げ、注意頗る懇切なる案内者なり。（國會）

曩に都門遊學者の爲めに遊學案内を發行したる少年團、又々卒業後の青年の爲めに此版あり。前途の處世を畫せんを欲するものに、こゝなき便書といふべし。（二六新報）

少年團が年々發行する遊學案内は、都門に入り來る少年輩に便益を與へしこと紛からざるが、本書は之に對し、主として卒業生に向て前途の指導をなす者にて、乃ち社會の海に乗り出し安全なる立脚地を求むるに方り、懇切なる助言者と稱すべし。故に亦當初の目的を確定するに、遊學案内と前後相俟て少年界を益するものなり。上篇就業上の指針、中篇職務檢定規則、下篇檢定試験問題を説す。精詳説具さに社會の現象を示せり。吾人は少年界に代て編者に一言之を謝す。（毎日新聞）

青年教育の別働隊として一方に旗幟を翻す少年團は、其精緻周到の調査と、簡潔明瞭の文筆を以て、新撰就業案内を刊す。記する所の事項二百有三十、讀み來れば、優に國家社會の全体を識るべく、而も懇切に其事業の性質組織を解説したるは、決して網利的書肆の爲し能はざる所なり。（山形自由新聞）

發行所

東京府下北豐島郡上駒込村十九番地

少年園

版權所有

明治二十七年七月十四日印刷
 明治二十七年七月十七日發行
 明治二十八年一月廿二日訂正再版印刷
 明治二十八年一月廿五日發行

定價金貳拾五錢

編輯者

黒川 俊隆

東京市淺草區橋場町三十二番地

發行者

大橋 又四郎

東京市本郷區上富士前町二十番地

印刷者

根岸 高光

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目二十三番地

印刷所

株式會社 秀英舎第一工場

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

發行所

少年園

東京府下北豐島郡上駒込村十九番地



終